

TOUR DE HOKKAIDO 2017

第31回 ツール・ド・北海道

9.8(fri) - 9.10(sun)



《ステージレース》 総走行距離 約424km

- ▶ 第1ステージ(ロードレース) [162km] 9/8(金)・・・函館市～江差町～北斗市
- ▶ 第2ステージ(ロードレース) [185km] 9/9(土)・・・北斗市～松前町～木古内町
- ▶ 第3ステージ(ロードレース) [77km] 9/10(日)・・・函館市～(亀尾)～(女那川)～(湯川)～函館山山頂

《市民ロードレース》 [68km] 9/10(日)・・・函館市～(亀尾)～(女那川)～(湯川)～函館市



事業報告 RACE REPORT

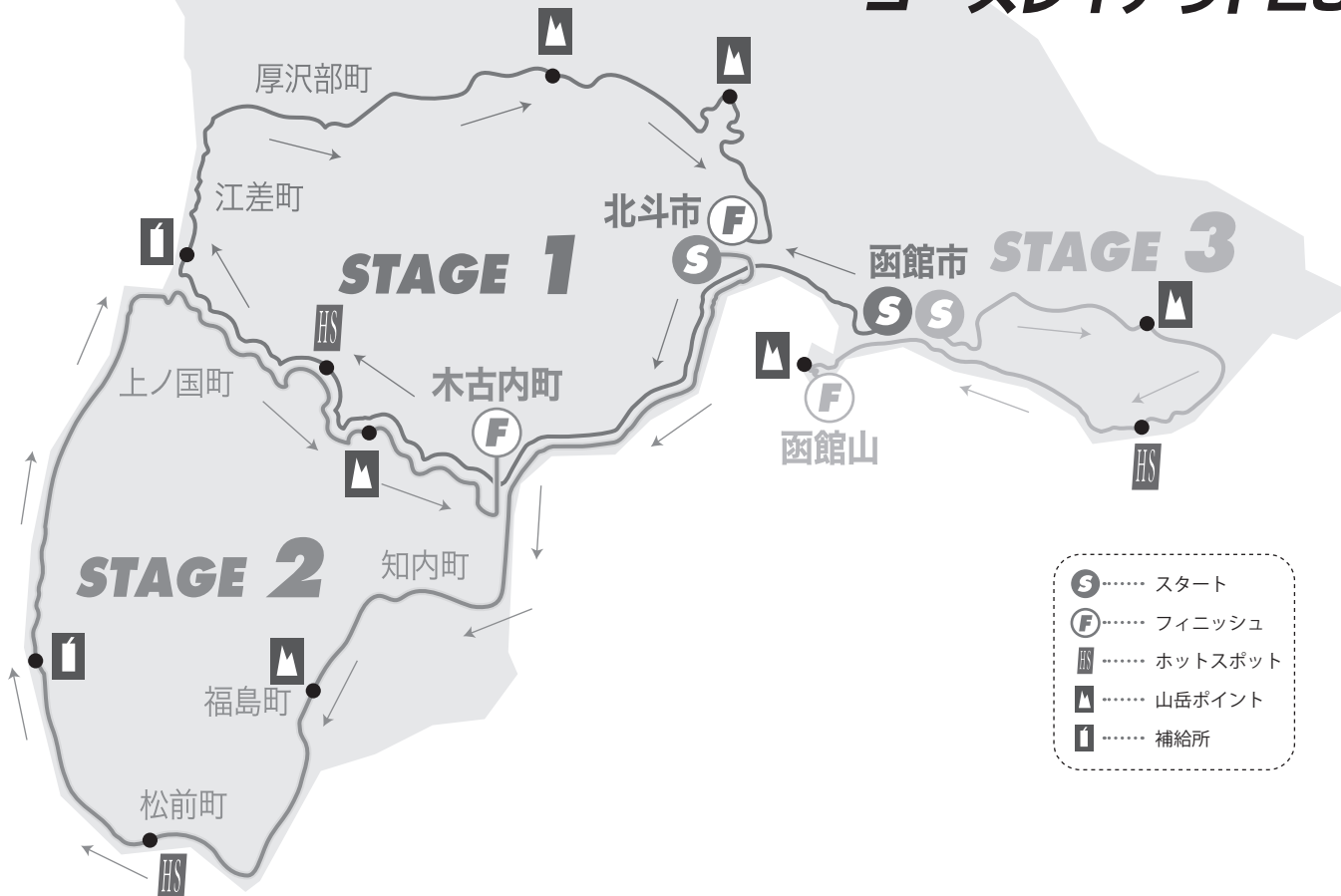


競輪の補助事業

この大会は、競輪の補助を受けて実施しました。
<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>

COURSE LAYOUT 2017

コースレイアウト2017



総走行距離
424km

2017
AREA

■ 9月8日(金)開会式

会場 函館競輪場駐車場特設会場 <8:30~9:00>

[競技日程]

■ 9月8日(金)第1ステージ 162Km(ロードレース) 函館市~江差町~北斗市

スタート: 函館市 函館競輪場前 <9:30>

フィニッシュ: 北斗市 運動公園前

■ 9月9日(土)第2ステージ 185Km(ロードレース) 北斗市~松前町~木古内町

スタート: 北斗市 運動公園前 <9:30>

フィニッシュ: 木古内町 JR木古内駅前

■ 9月10日(日)第3ステージ 77Km(ロードレース) 函館競輪場前~(亀尾)~(女那川)~(湯川)~函館山山頂

スタート: 函館市 函館競輪場前 <9:30>

フィニッシュ: 函館市 函館山山頂

■ 9月10日(日)最終表彰式 函館山山頂特設会場 <12:10~ >

大自然の中を町から町へと公道を使用して巡る本格的な自転車ステージレース「ツール・ド・北海道」は、今年で31回目を迎え、道南地域において9月8日(金)から9月10日(日)までの3日間、3ステージにわたるロードレースを開催した。道南地域での開催は、第24回大会以来7年ぶり8回目、全ステージを道南で開催するのは初となった。

9月8日(金)の第1ステージは、函館競輪場前からスタートして函館湾沿いに走る国道228号を疾走し、木古内町から道道5号に入って山間部を走行し日本海に面した上ノ国町、江差町、厚沢部町を経て北斗市運動公園前までの162kmを走破した。

9月9日(土)の第2ステージは、北斗市運動公園前からスタートして、23年ぶりに松前半島を銀輪が疾走。1市5町を通過、走行距離は185kmの今大会最長コース。大半が海沿いを走るコースで横から受ける浜風が選手に微かな影響を与えた。

最終日9月10日(日)の第3ステージは、函館競輪場前からスタートして函館空港滑走路下のボックスカルバートをくぐり、山間部を回って津軽海峡沿いの国道278号を疾走し、最後は大会史上初となる函館山登山道に登って函館山山頂でフィニッシュした。

本大会には国内外から20チーム98人の選手が出場し、道南の美しい海岸線コースや函館山を舞台に白熱したレースが展開された。

ツール・ド・北海道2017 事業報告書

●大会概要

公益財団法人 ツール・ド・北海道協会

1.事業開始	2017年5月10日(水) 函館市大森町2番14号 サン・リフレ函館1階中会議室において「ツール・ド・北海道2017」実行委員会を開催									
2.事前会議	2017年9月 7 日(木) 役員打合せ会議、参加チーム受付、ライセンスコントロール、監督会議、審判合同会議、部門別会議、報道会議、ドライバーズミーティング									
3.大会期間	2017年9月8日(金)～9月10日(日) 3日間									
4.ステージレース	日程	日 程	競 技		経路・会場	距離(km)	道路別距離(km)			
		9月 8 日(金)	第1ステージ(ロードレース)		函 館 市～北 斗 市	162	国道／274.4(64.8%)			
		9月 9 日(土)	第2ステージ(ロードレース)		北 斗 市～木古内町	185	道道／110.7(26.1%)			
		9月10日(日)	第3ステージ(ロードレース)		函 館 市	77	その他／38.6(9.1%)			
	参加チーム (20)	海外チーム(5)	NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ(イタリア)、トレンガヌサイクリングチーム(マレーシア)、セントジョージ コンチネンタル サイクリングチーム(オーストラリア)、韓国体育大学校(大韓民国)、セブンイレブン ロードバイク フィリピンズ(フィリピン)							
国内チーム(15)		愛三工業レーシングチーム、ブリヂストンアンカーサイクリングチーム、インタープロサイクリングアカデミー、キナンサイクリングチーム、マトリックスパワータグ、那須ブルーゼン、シマノレーシングチーム、チーム右京、宇都宮ブリッツェン、北海道地域選抜、日本大学、京都産業大学、鹿屋体育大学、中央大学、北海道大学								
● 参加選手 98人、チームスタッフ 78人										
5.市民ロードレース	日程・参加者	日 程	競 技		経路・会場	距離(km)	申込者数(人)		参加者数(人)	
		9月10日(日)	市民ロードレース	Aクラス	函 館 市	68	116	508	110	471
				Bクラス			232		217	
				Cクラス			160		144	
6.関係市町村	総数	9市町(2市7町)								
	地元賞等	北斗市(「海峡ふのり」、「海峡ひじき」、「函館育ちふっくりんこ蔵部(くらぶ)ビール」、「トマトカレー」と「農協ラーメン」のセット)木古内町(「ひじき&みそぎの舞セット」)函館市(五島軒レトルトカレーギフト6箱セット)								
	アトラクション	北斗市 「上磯中学校吹奏楽部」による演奏 木古内町 「木古内小学校吹奏楽部」による演奏 函館市 「郷土芸能 函館巴太鼓振興会」による演奏								
7.関係者	役員	大会役員 42人、実行委員・幹事 54人、競技役員 204人 計 300人								
	交通整理等	警察官 233人、コース・会場警備員 684人、コース整理員 521人、会場設営等ボランティア 50人								
8.広報・安全対策	広報対策	ポスター 6,000枚(大1,000枚)、交通規制チラシ45,000枚、新聞折り込みチラシ2,500枚、新聞(北海道新聞、読売、朝日)、日本道路交通情報センター、FMいるか、国道道路情報板、各種スポーツ雑誌等、テレビ放送 HTB(全道)10/9(月、体育の日)14:00～ ホームページ								
	安全対策	交通規制・競技看板 315枚、セーフティーコン 1,202本、バリケード 656m								
9.観衆人員(概数)	50,000人									
10.印刷物	ガイドブック 10,000部、テクニカルガイド500部、事業報告書500部、市民ロードレースプログラム750部									
11.車両、宿泊	車両使用台数133台(うち2輪車27台) 、パトカー5台、宿泊施設数8か所									
12.まとめ	今年は、比較的起伏の少ないコースレイアウトのため、どのステージも予想を上回るハイスピードのレース展開となり、先行グループと追走するメイン集団との駆け引きが繰り返され、第1、第2ステージともフィニッシュ前で集団でのスプリント勝負となり、タイム差がつかず、勝敗は、第3ステージの函館山山頂フィニッシュ手前の抜きつ抜かれつのトップ争いで決まり、最後までスリリングで白熱したレース展開となった。初の函館山山頂フィニッシュを制し、個人総合時間優勝を果たしたのは、ガルシア・マルコス(キナンサイクリングチーム)。個人総合山岳賞は大学生で初となる富尾大地(鹿屋体育大学)が、個人総合ポイント賞は岡本隼(愛三工業レーシングチーム・日本大学4年生)が、団体総合時間賞はNIPPO-ヴィーニ ファンティーニ(イタリア)が、U26団体総合時間賞は鹿屋体育大学がそれぞれ受賞した。 今大会では、大学生チームがよく健闘。 ツール・ド・北海道大会の開催を通じ、参加選手、特に若手選手の競技力向上と人材育成、サイクルスポーツの普及・振興に大きく貢献するとともに、地域の観光、産業の振興、活性化等にも大いに寄与した。									

■NIPPO・ヴィーニ ファンティーニ(イタリア) NIPPO-VINI FANTINI (ITALY)



●選手/RIDER

バジオリ ニコラ
BAGIOLI Nicola
ベルラート ジャコモ
BERLATO Giacomo
デネグリ ピエールパオロ
DE NEGRI Pier Paolo
小林 海
KOBAYASHI Marino
中根 英登
NAKANE Hideto

●監督/SPORTS DIRECTOR

大門 宏
DAIMON Hiroshi

■セントジョージ コンチネンタル サイクリングチーム (オーストラリア) ST. GEORGE CONTINENTAL CYCLING TEAM (AUSTRALIA)



●選手/RIDER

ダットン ジェイ
DUTTON Jay
クーリー マーカス
CULEY Marcus
エラーム ノートン ダーシー
ELLERM-NORTON Darcy
キャメロン ティモシー
CAMERON Timothy
ボネロ ダニエル
BONELLO Daniel

●監督/SPORTS DIRECTOR

ボイス スチュアート
BOYCE Stuart

■セブンイレブン ロードバイク フィリピンズ (フィリピン) 7 ELEVEN ROADBIKE PHILIPPINES



●選手/RIDER

エワート ジェシー
EWART Jesse
ノハレス ニエト エドガー
NOHALES NIETO Edgar
ベリー ジョシュ
BERRY Josh
金子 大介
KANEKO Daisuke

●監督/SPORTS DIRECTOR

山田 貴一
YAMADA Kiichi

■ブリヂストンアンカーサイクリングチーム BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM



●選手/RIDER

初山 翔
HATSUYAMA Sho
モニエ ダミアン
MONIER Damien
鈴木 龍
SUZUKI Ryu
西園 良太
NISHIZONO Ryota
石橋 学
ISHIBASHI Manabu

●監督/SPORTS DIRECTOR

水谷 壮宏
MIZUTANI Takehiro

■キナンサイクリングチーム KINAN CYCLING TEAM



●選手/RIDER

山本 元喜
YAMAMOTO Genki
ルバトマ
LEBAS Thomas
ガルシア マルコス
GARCIA Marcos
椿 大志
TSUBAKI Hiroshi
雨乞 竜己
AMAGOI Tatsuki

●監督/SPORTS DIRECTOR

石田 哲也
ISHIDA Tetsuya

■トレンガヌサイクリングチーム (マレーシア) TERENGGANU CYCLING TEAM (MALAYSIA)



●選手/RIDER

サレ モフド ハリフ
SALEH Mofid Harif
マット アミン モハマド シャルウ
MAT AMIN Mohd Shahrul
アブマド ザムリムハンマド スルヘルミ アフィフ
AHMAD ZAMRI Muhammad Zulhilmie Afiff
モフド ザリフ モハマド ヌル アイマン
MOHD ZARIFF Muhd Nur Aiman
モレイ ドリュウ
MOREY Drew

●監督/SPORTS DIRECTOR

ハント ジェレミー ジョナサン
HUNT Jeremy Jonathan

■韓国体育大学校 (大韓民国) KOREA NATIONAL SPORT UNIVERSITY



●選手/RIDER

キュイ ヒュクジン
KYUI Hyukjin
パク ソービン
PARK Soobeen
イ ジェヒュン
LEE Jehyun
カン ドング
KANG Donggu
パーク スンモク
PARK Sungmok

●監督/SPORTS DIRECTOR

イ ヨンウ
LEE Yongwoo

■愛三工業レーシングチーム AISAN RACING TEAM



●選手/RIDER

岡本 隼
OKAMOTO Hayato
早川 朋宏
HAYAKAWA Tomohiro
住吉 宏太
SUMIYOSHI Kota
小森 亮平
KOMORI Ryohei
渡辺 翔太郎
WATANABE Shotaro

●監督/SPORTS DIRECTOR

別府 匠
BEPPU Takumi

■インタープロサイクリングアカデミー INTERPRO CYCLING ACADEMY



●選手/RIDER

ウドリ フロリアン
HUDRY Florian
吉田 悠人
YOSHIDA Yuto
水野 恭兵
MIZUNO Kyohei
中田 拓也
NAKATA Takuya

●監督/SPORTS DIRECTOR

フォレスト ステファン
FOREST Stephan

■マトリックスパワータグ MATRIX POWERTAG



●選手/RIDER

トリビオ ホセ ヴィセンテ
TORIBIO Jose Vicente
フェルナンデス カサソラ アラン
FERNANDEZ CASASOLA Airan
佐野 淳哉
SANO Junya
土井 雪広
DOI Yukihiro
吉田 隼人
YOSHIDA Hayato

●監督/SPORTS DIRECTOR

安原 昌弘
YASUHARA Masahiro

■那須ブラーゼン NASU BLASEN



●選手 / RIDER

吉岡 直哉
YOSHIOKA Naoya
下島 将輝
SHIMOJIMA Masaki
西尾 勇人
NISHIO Hayato
岸 崇仁
KISHI Takahito
新城 銀二
ARASHIRO Ginji

●監督 / SPORTS DIRECTOR

清水 良行
SHIMIZU Yoshiyuki

■チーム右京 TEAM UKYO



●選手 / RIDER

畑中 勇介
HATANAKA Yusuke
平井 栄一
HIRAI Eiichi
徳田 鍛造
TOKUDA Tanzo
ガルディオオトラ サルヴァドル
GUARDIOLA TORA Salvador
フェルナンデス アヤルザグエナ エゴイツ
FERNANDEZ AYARZAGUENA Egoitz

●監督 / SPORTS DIRECTOR

桑原 忠彦
KUWABARA Tadahiko

■北海道地域選抜 SELECTED HOKKAIDO



●選手 / RIDER

伊藤 舜紀
ITO Shunki
西尾 憲人
NISHIO Keito
佐野 千尋
SANO Chihiro
平田 久仁枝
HIRATA Kunie
中川 拳
NAKAGAWA Ken

●監督 / SPORTS DIRECTOR

坂上 信也
SAKAGAMI Shinya

■京都産業大学 KYOTO SANGYO UNIVERSITY



●選手 / RIDER

中井 唯晶
NAKAI Tadaaki
曽我部 厚誠
SOGABE Atsunori
藤田 俊輔
FUJITA Shunsuke
溝口 智貴
MIZOGUCHI Tomoki
伊藤 皓平
ITO Kohei

●監督 / SPORTS DIRECTOR

山岸 正教
YAMAGISHI Masanori

■中央大学 CHUO UNIVERSITY



●選手 / RIDER

橋詰 丈
HASHIZUME Jo
今村 駿介
IMAMURA Shunsuke
直井 駿太
NAOI Shunta
尾形 尚彦
OGATA Takahiko
水野 慎人
MIZUNO Makito

●監督 / SPORTS DIRECTOR

添田 広福
SOETA Hiroyoshi

■シマノレーシングチーム SHIMANO RACING TEAM



●選手 / RIDER

入部 正太郎
IRIBE Shotaro
木村 圭佑
KIMURA Keisuke
湊 諒
MINATO Ryo
秋田 拓磨
AKITA Takuma
水谷 翔
MIZUTANI Kakeru

●監督 / SPORTS DIRECTOR

野寺 秀徳
NODERA Hidenori

■宇都宮ブリッツェン UTSUNOMIYA BLITZEN



●選手 / RIDER

増田 成幸
MASUDA Nariyuki
阿部 嵩之
ABE Takayuki
鈴木 譲
SUZUKI Yuzuru
館野 智行
INO Tomoyuki
馬渡 伸弥
MAWATARI Shinya

●監督 / SPORTS DIRECTOR

清水 裕輔
SHIMIZU Yusuke

■日本大学 NIHON UNIVERSITY



●選手 / RIDER

草場 啓吾
KUSABA Keigo
沢田 桂太郎
SAWADA Keitaro
栗原 悠
KURIHARA Haruka
武山 晃輔
TAKEYAMA Kosuke
鵜沼 利久
UNUMA Riku

●監督 / SPORTS DIRECTOR

井上 由大
INOUE Yoshihiro

■鹿屋体育大学 NATIONAL INSTITUTE OF FITNESS & SPORTS in KANOYA



●選手 / RIDER

山本 大喜
YAMAMOTO Masaki
黒枝 咲哉
KUROEDA Saya
富尾 大地
TOMIO Daichi
石井 駿平
ISHII Shunpei
徳田 匠
TOKUDA Takumi

●監督 / SPORTS DIRECTOR

高宮 正嗣
TAKAMIYA Masatsugu

■北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY



●選手 / RIDER

長澤 優樹
NAGASAWA Yuki
佐藤 史弥
SATO Fumiya
宮崎 裕史
MIYAZAKI Hirofumi
鳥崎 修平
TORISAKI Shuhei
鈴木 慎人
SUZUKI Norito

●監督 / SPORTS DIRECTOR

新納 裕樹
NIINO Hiroki

ツール・ド・北海道2017 広報



●2017 ポスター



●2017 ガイドブック



●ホームページ 2017トップページ

2017

開会式

OPENING CEREMONY

9/8 Fri 函館競輪場特設会場

9月8日午前9時からツール・ド・北海道2017のスタート地点、函館競輪場特設会場において開会式が開催され、ツール・ド・北海道2017が開幕した。今年は海外から5チーム、国内から15チーム、合わせて20チーム98人の選手が参加して競技が行われた。参加チームの選手、大会役員、関係者一同は、和やかな雰囲気の中にも国際大会の開幕に緊張感漂う開会式になった。



開会式に臨む選手たち



開会式会場



来賓



大会・競技役員



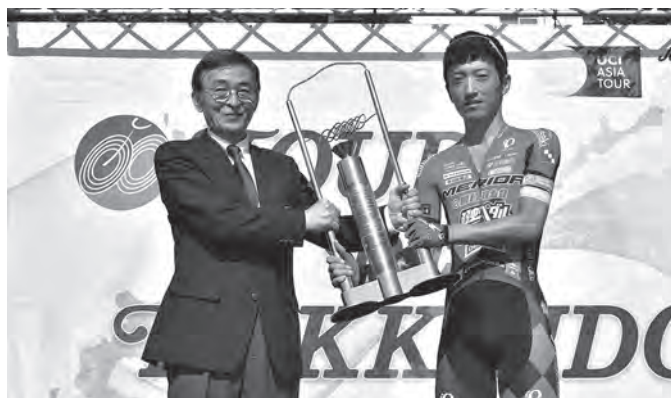
主催者挨拶
山本隆幸 大会長



歓迎の挨拶
工藤 壽樹 函館市長



チーフコミセール
マフムード ジャマルディン



優勝カップ返還 ツール・ド・北海道 2016個人総合優勝
増田 成幸選手(宇都宮ブリッツェン)



選手宣誓 札幌市出身
西尾 勇人選手(那須ブラーゼン)

第1ステージ

Stage 1

9/8 Fri Start 9:30
162km Road Race



**函館市(函館競輪場前)→北斗市→木古内町→知内町
→上ノ国町→江差町→厚沢部町→北斗市(運動公園)**

■レースの概要

朝から青空が広がった函館市内。第1ステージは、函館競輪場前から午前9時30分に98人がスタートし、道南を舞台に3日間424kmのステージレースが開幕した。函館市内5.6kmをパレード走行した後午前9時41分にリアルスタート、函館湾に沿って海岸線を南下し木古内町から道道5号の山間部に入って新吉堀トンネルを抜け、江差町、厚沢部町を経て北斗市運動公園前でフィニッシュする競技距離156.7kmのコース。左手に函館山を望みながら序盤のアタック合戦で6人の逃げ集団が形成され、予想通りのハイペースでレースが展開された。HS上ノ国町湯ノ岱(64.2km)の中間スプリントでは、1位 草場(日大)、2位 岸(ブラーゼン)、3位 中田(インタープロ)の順で通過。江差町「いにしえ街道」付近(87km地点)ではメイン集団とのタイムギャップは最大7分50秒まで開いた。最初のKOM(中山峠)は、草場が1位通過。その後、先頭集団から次々にドロップして残り14km地点で先頭は3名、タイムギャップも一気に縮まり25秒。2回目のKOMも草場が1位で通過し、このステージのHSと2つのKOMを全て制した。しかし、残り8km付近で逃げは全て吸収され、残り300mでゴールスプリントの勝負となった。結果は、1位 鈴木(ブリヂストン)、2位 デネグリ(NIPPO)、3位 岡本(愛三)の順でゴールし、トップは平均時速43.5kmの高速でフィニッシュした。鈴木は個人総合ポイント賞でも首位、個人総合山岳賞は草場が首位に立ち、それぞれリーダージャージを獲得した。(完走92人)



スターター
工藤 壽樹 函館市長



函館競輪場前スタート



函館山を背に6人の逃げ集団が形成



ホットスポット 上ノ国町湯ノ岱(64.2km)
1位通過 草場 啓吾(日本大学)



歴史の香り漂う江差町「いにしえ街道」を疾走



KOM 1 厚沢部町中山トンネル手前(123.2km)
1位通過 草場 啓吾(日本大学)



KOM2 北斗市匠の森公園入口前(142.3km)
1位通過 草場 啓吾(日本大学)



沿道からの応援(北斗市)



北斗市立上磯小学校の全校応援



ゴールスプリントを制したのは 鈴木 龍
(ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)



北斗市立上磯中学校吹奏楽部による演奏



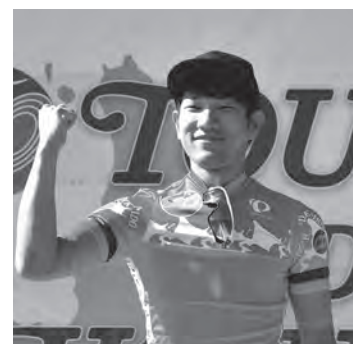
歓迎の挨拶
プレゼンター 高谷 寿峰 北斗市長



アシスタント
北斗市教育委員会職員
上條 こずえさん
北斗市教育委員会職員
本間 美雲さん



個人区間順位
(北斗市公式キャラクター ゼーシーほっきー)
1位 鈴木 龍(ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)
2位 デネグリ ビエールバオロ(NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ)
3位 岡本 隼(愛三工業レーシングチーム)



個人区間・総合山岳賞
1位 草場 啓吾(日本大学)



個人総合ポイント賞
1位 鈴木 龍
(ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)



個人総合時間賞
1位 鈴木 龍
(ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)

Stage1 競技結果

■個人区間順位

- 1位 鈴木 龍(ブリヂストンアンカーサイクリングチーム) 3:36'03"
- 2位 デネグリ ビエールバオロ(NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ)
- 3位 岡本 隼(愛三工業レーシングチーム)

■個人区間山岳賞

- 1位 草場 啓吾(日本大学) 10pts

■個人総合時間順位

- 1位 鈴木 龍(ブリヂストンアンカーサイクリングチーム) 3:35'53"
- 2位 デネグリ ビエールバオロ(NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ)
- 3位 岡本 隼(愛三工業レーシングチーム)

■個人総合ポイント賞

- 1位 鈴木 龍(ブリヂストンアンカーサイクリングチーム) 25pts

■個人総合山岳賞

- 1位 草場 啓吾(日本大学) 10pts

第2ステージ Stage 2

9/9 Sat Start 9:30
185km Road Race

北斗市(運動公園)→木古内町→知内町
→福島町→松前町→上ノ国町
→木古内町(JR木古内駅前)



■レースの概要

第2ステージのスタート地点北斗市(運動公園)は、雲が多めながらも朝から晴れ。しかし風が強く日本海側では横風が選手を苦しめた。北斗市からスタートして松前半島をほぼ1周し、JR木古内駅前でフィニッシュする競技距離182.3kmの今大会最長コース。午前9時30分、20チーム91人がスタート(DNS1人)。最初の逃げが決まったのは40kmを過ぎた地点で馬渡(ブリッツェン)、小森(愛三)、吉田(インタープロ)、富尾(鹿屋体大)4人の逃げが容認される。1回目のKOM(福島トンネル手前)は、小森が1位、2位は富尾。先頭集団4名はメイン集団とのタイムギャップを3分に保ちHS(道の駅北前船松前)を通過、1位吉田、2位馬渡の順。先頭4人は、日本海側の強い横風を受けながら協調体制をとり先頭交代しながらさらに北上して次のKOMに向かう。163km地点(新吉堀トンネル手前)のKOMでは、小森がトップで通過し、富尾が2位通過。KOMの登りで選手がばらけ逃げ集団は崩壊。残り3kmで先頭はメイン集団に吸収され集団は1つとなり最後のスプリント勝負となった。ゴールスプリントを制した岡本(愛三)がステージ優勝し、個人総合時間賞及び個人総合ポイント賞でも首位に浮上した。区間山岳賞は小森、個人総合山岳賞は草場(日大)がリーダージャージを守った。(完走91人)



第2ステージの先頭に立つ各リーダー(北斗市運動公園)



スターター
高谷 寿峰 北斗市長



第2ステージスタート



福島町福島トンネル手前のKOMを1位通過する 小森 亮平(愛三工業レーシングチーム)



松前町白神岬(74km)付近を走るメイン集団



ホットスポット松前町「道の駅 北前船松前」前1位通過 吉田 悠人(インタープロサイクリングアカデミー)



上ノ国町市街地を走るメイン集団



ゴールスプリントを制したのは
岡本 隼(愛三工業レーシングチーム)



木古内町立木古内小学校吹奏楽部の皆さん



歓迎の挨拶
プレゼンター
大森 伊佐緒 木古内町長



アシスタント
木古内町役場職員 佐藤 萌美さん
柏谷 砂也香さん



個人区間順位 1位 岡本 隼(愛三工業レーシングチーム)
2位 黒枝 咲哉(鹿屋体育大学)
3位 デネグリ ピエールバオロ(NIPPO-ヴィーニファンティーニ)



個人区間山岳賞 (木古内町公式キャラクター キーコ)
1位 小森 亮平
(愛三工業レーシングチーム)



個人総合山岳賞
1位 草場 啓吾
(日本大学)



個人総合ポイント賞
1位 岡本 隼
(愛三工業レーシングチーム)



個人総合時間賞
1位 岡本 隼
(愛三工業レーシングチーム)

Stage 2 競技結果

■個人区間順位

- 1位 岡本 隼(愛三工業レーシングチーム) 4:24'48"
- 2位 黒枝 咲哉(鹿屋体育大学)
- 3位 デネグリ ピエールバオロ(NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ)

■個人区間山岳賞

- 1位 小森 亮平(愛三工業レーシングチーム) 6pts

■個人総合時間順位

- 1位 岡本 隼(愛三工業レーシングチーム) 8:00'37"
- 2位 デネグリ ピエールバオロ(NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ)
- 3位 鈴木 龍(プリヂストンアンカーサイクリングチーム)

■個人総合ポイント賞

- 1位 岡本 隼(愛三工業レーシングチーム) 41pts

■個人総合山岳賞

- 1位 草場 啓吾(日本大学) 10pts

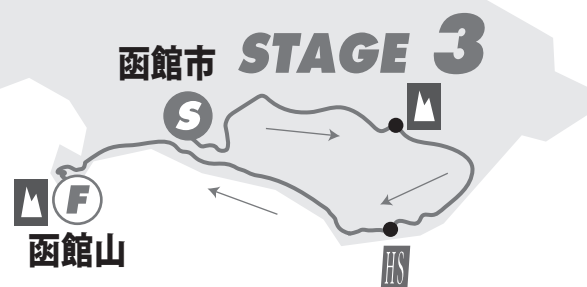
第3ステージ Stage 3

9/10 Sun Start 9:30
77km Road Race

■レースの概要

昨夜から未明まで降り続いた雨も上がり、函館山がくっきりと見える絶好の大会日和となった最終日、初日と同じ函館競輪場前から午前9時30分に91人が定刻スタート。湯の川温泉街から函館市東部を回って津軽海峡沿いの海岸コースを疾走し、函館山山頂決戦でクライマックスを迎える競技距離75.9kmのコース。序盤からハイペースでのレース展開となり、26.8km地点で1回目のKOM(笹積山登山口先)を富尾(鹿屋体大)が1位通過、続いて草場(日大)、入部(シマノ)の順。泊漁港前HSでは1位水野(インタープロ)、2位入部の順。アタックを試みるもすぐに吸収され集団は一つ、終始速いペースで津軽海峡沿いの平坦基調のコースを疾走。護国神社坂を上がって残り2kmでNIPPO 5人が先頭を固めるもガルシア(キナン)がアタック、NIPPOが吸収する展開となった。残り1kmでガルシアが再びアタックしてそのまま先頭でフィニッシュし、ステージ優勝するとともに、逆転で個人総合優勝した。個人総合ポイント賞は岡本(愛三・日大4年生)が、個人総合山岳賞は富尾(鹿屋体大)が大学生として初めてタイトルを獲得した。団体総合時間ではNIPPOが、U26団体総合時間では鹿屋体育大学が優勝した。

函館市(函館競輪場前)→鉄山町
→女那川町→函館市(函館山山頂)



第3ステージの先頭に立つ各リーダー(函館競輪場前)



スターター
綿貫 民輔 大会総裁



第3ステージスタート(函館競輪場前)



2 km地点「湯の川温泉街」を走る集団



ホットスポット
43.6km地点 泊漁港前



沿道からの大応援(漁火通)



65km地点「湯の川温泉街」から
函館山山頂を目指すメイン集団



護国神社前の大応援



護国神社坂を上るメイン集団



残り3 km NIPPOが先頭を固める



残り2 kmでガルシア マルコスがアタック



ステージ優勝(函館山山頂)
ガルシア マルコス(キナンサイクリングチーム)



個人区間山岳賞
1位 ガルシア マルコス
(キナンサイクリングチーム)



個人区間順位
1位 ガルシア マルコス(キナンサイクリングチーム)
2位 西園 良太(プリヂストンアンカーサイクリングチーム)
3位 トリビオ ホセ ヴィセンテ(マトリックスパワータグ)



アシスタント
函館市教育委員会 田村 陽子さん
高松 京子さん



「郷土芸能 函館巴太鼓振興会」による和太鼓演奏

Stage 3 競技結果

■個人区間順位

- 1位 ガルシア マルコス
(キナンサイクリングチーム) 1:43'47"
- 2位 西園 良太
(プリヂストンアンカーサイクリングチーム)
- 3位 トリビオ ホセ ヴィセンテ
(マトリックスパワータグ)

■個人区間山岳賞順位

- 1位 ガルシア マルコス
(キナンサイクリングチーム) 7pts

2017

最終表彰式

OVERALL AWARDS CEREMONY

9/10 Sun 函館山山頂特設会場

9月10日(日)12時10分からツール・ド・北海道2017の最終表彰式が、国土交通省、北海道、函館市などから来賓を迎え、函館山山頂特設会場で開催された。

今大会の成績は個人総合時間賞はキナンサイクリングチームのガルシア マルコスが、個人総合ポイント賞は愛三工業レーシングチームの岡本隼、個人総合山岳賞は、鹿屋体育大学の富尾大地が制し、それぞれチャンピオンジャージを獲得した。団体総合時間賞は、NIPPO-ヴィーニファンティーニが2年振りに、そして昨年新設したU26団体総合時間賞は鹿屋体育大学が獲得した。

表彰式では団体総合時間賞が田村秀夫国土交通省北海道局長から、U26団体総合時間賞が原俊哉国土交通省北海道開発局建設部長から、個人総合山岳賞が工藤壽樹函館市長から、個人総合ポイント賞が小田原輝和北海道渡島総合振興局長からそれぞれ授与された。

また、最高の栄誉とされる個人総合時間賞と北海道カップは、綿貫民輔大会総裁からガルシア マルコス選手(キナンサイクリングチーム)に贈られた。

最後に、山本隆幸大会長(ツール・ド・北海道協会理事長)の主催者挨拶でツール・ド・北海道2017の幕を閉じた。



函館山山頂特設会場



工藤壽樹 函館市長挨拶



来賓



大会役員



主催者挨拶 山本隆幸 大会長
(公益財団法人ツール・ド・北海道協会理事長)

総合(最終)成績

個人総合時間賞順位

- 1位 ガルシア マルコス(キナンサイクリングチーム) 9:44'28"
- 2位 西園 良太(プリチストンアンカーサイクリングチーム)
- 3位 トリビオ ホセ ヴィセンテ(マトリックスパワータグ)
- 4位 ベルラート ジャコモ(NIPPO-ヴィーニファンティーニ)
- 5位 ルバトマ(キナンサイクリングチーム)
- 6位 ガルディオラ トラ サルヴァドール(チーム右京)
- 7位 フェルナンデス アヤルザグエナ エゴイツ(チーム右京)
- 8位 デネグリ ビエールバオロ(NIPPO-ヴィーニファンティーニ)
- 9位 中根 英登(NIPPO-ヴィーニファンティーニ)
- 10位 モレイ ドリュウ(トレンガヌサイクリングチーム)

個人総合ポイント賞順位

- 1位 岡本 隼(愛三工業レーシングチーム) 42pts
- 2位 デネグリ ビエールバオロ(NIPPO-ヴィーニファンティーニ)
- 3位 鈴木 龍(プリチストンアンカーサイクリングチーム)

個人総合山岳賞順位

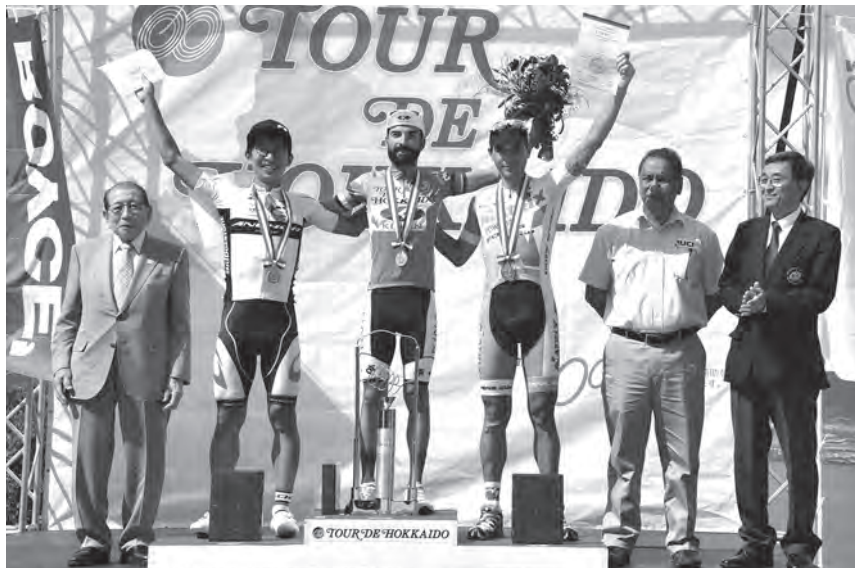
- 1位 富尾 大地(鹿屋体育大学) 13pts
- 2位 草場 啓吾(日本大学)
- 3位 ガルシア マルコス(キナンサイクリングチーム)

団体総合時間賞順位

- 1位 NIPPO-ヴィーニファンティーニ 29:14'36"
- 2位 キナンサイクリングチーム
- 3位 チーム右京

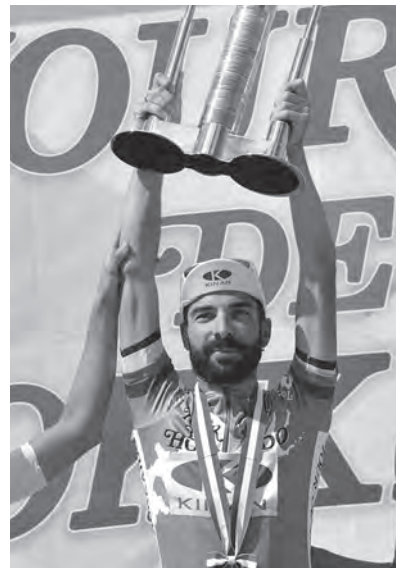
U26団体総合時間賞順位

- 1位 鹿屋体育大学 29:27'35"
- 2位 京都産業大学
- 3位 セントジョージ コンチネンタル サイクリングチーム



個人総合時間賞

- 1位 ガルシア マルコス(キナンサイクリングチーム)
- 2位 西薊 良太(ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)
- 3位 トリビオ ホセ ヴィセンテ(マトリックスパワータグ)



個人総合優勝

ガルシア マルコス
(キナンサイクリングチーム)



個人総合山岳賞

富尾 大地(鹿屋体育大学)



個人総合ポイント賞

岡本 隼(愛三工業レーシングチーム)



団体総合時間賞

NIPPO-ヴェーニファンティーニ



U26団体総合時間賞

鹿屋体育大学

2017

最終成績

FINAL RESULTS



TOUR DE HOKKAIDO 2017

個人総合時間賞

Pl.	Num	選手名	チーム名	Total	Behind
1	33	ガルシア マルコス	キナンサイクリングチーム	9:44'28"	00'00"
2	44	西 蘭 良 太	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	9:44'34"	00'06"
3	51	トリビオ ホセ ヴィセンテ	マトリックスパワータグ	9:44'40"	00'12"
4	12	ベルラート ジャコモ	NIPPO - ヴィーニ ファンティエニ	9:44'44"	00'16"
5	32	ルバトマ	キナンサイクリングチーム	9:44'44"	00'16"
6	84	ガルディオラトラ サルヴァドール	チーム右京	9:44'47"	00'19"
7	85	フェルナンデス アヤルザグエナ エゴイツ	チーム右京	9:44'51"	00'23"
8	13	デネグリ ビエルバオロ	NIPPO - ヴィーニ ファンティエニ	9:44'53"	00'25"
9	15	中 根 英 登	NIPPO - ヴィーニ ファンティエニ	9:44'54"	00'26"
10	155	モレイドリュエ	トレンガヌサイクリングチーム	9:44'56"	00'28"
11	3	鈴 木 譲	宇都宮ブリッツェン	9:45'03"	00'35"
12	11	バジオーリ ニコラ	NIPPO - ヴィーニ ファンティエニ	9:45'09"	00'41"
13	71	岡 本 隼	愛三工業レーシングチーム	9:45'16"	00'48"
14	63	湊 諒	シマノレーシングチーム	9:45'19"	00'51"
15	43	鈴 木 龍	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	9:45'23"	00'55"
16	95	中 川 拳	北海道地域選抜	9:45'42"	01'14"
17	131	山 本 大 喜	鹿屋体育大学	9:46'02"	01'34"
18	102	クーリー マーカス	セントジョージ コンチネンタル サイクリングチーム	9:46'09"	01'41"
19	122	ウドリ フロリアン	インタープロサイクリングアカデミー	9:46'09"	01'41"
20	162	ノハレス ニエト エドガー	セブンイレブン ロードバイク フィリピンズ	9:46'20"	01'52"
21	81	畑 中 勇 介	チーム右京	9:46'31"	02'03"
22	72	早 川 朋 宏	愛三工業レーシングチーム	9:46'33"	02'05"
23	113	藤 田 俊 輔	京都産業大学	9:46'36"	02'08"
24	133	富 尾 大 地	鹿屋体育大学	9:46'44"	02'16"
25	101	ダットン ジェイ	セントジョージ コンチネンタル サイクリングチーム	9:46'45"	02'17"
26	104	キャメロン ティモシー	セントジョージ コンチネンタル サイクリングチーム	9:46'45"	02'17"
27	64	秋 田 拓 磨	シマノレーシングチーム	9:47'14"	02'46"
28	4	飯 野 智 行	宇都宮ブリッツェン	9:47'15"	02'47"
29	114	溝 口 智 貴	京都産業大学	9:47'18"	02'50"
30	73	住 吉 宏 太	愛三工業レーシングチーム	9:47'31"	03'03"
31	82	平 井 栄 一	チーム右京	9:48'01"	03'33"
32	161	エワート ジェシー	セブンイレブン ロードバイク フィリピンズ	9:48'11"	03'43"
33	35	雨 乞 竜 己	キナンサイクリングチーム	9:48'38"	04'10"
34	45	石 橋 恭 兵 学	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	9:48'52"	04'24"
35	124	水 野 啓 吾	インタープロサイクリングアカデミー	9:49'32"	05'04"
36	171	草 場 啓 吾	日本大学	9:50'19"	05'51"
37	54	土 井 雪 広	マトリックスパワータグ	9:50'56"	06'28"
38	184	尾 形 尚 彦	中央大学	9:51'22"	06'54"
39	5	馬 渡 伸 弥	宇都宮ブリッツェン	9:51'46"	07'18"
40	24	岸 崇 仁	那須ブラーゼン	9:52'04"	07'36"
41	74	小 森 亮 平	愛三工業レーシングチーム	9:53'43"	09'15"
42	62	木 村 圭 佑	シマノレーシングチーム	9:53'52"	09'24"
43	111	中 井 唯 晶	京都産業大学	9:54'04"	09'36"
44	53	佐 野 淳 哉	マトリックスパワータグ	9:54'42"	10'14"
45	152	マット アミン モハマド シャルウ	トレンガヌサイクリングチーム	9:54'55"	10'27"
46	134	石 井 駿 平	鹿屋体育大学	9:54'58"	10'30"
47	31	山 本 元 喜	キナンサイクリングチーム	9:55'07"	10'39"
48	41	初 山 翔 哉	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	9:55'13"	10'45"
49	132	黒 枝 咲 哉	鹿屋体育大学	9:55'20"	10'52"
50	83	徳 田 鍛 造	チーム右京	9:55'36"	11'08"
51	112	曽我部 厚 誠	京都産業大学	9:55'38"	11'10"
52	93	佐 野 千 尋	北海道地域選抜	9:56'12"	11'44"
53	185	水 野 積 人	中央大学	9:56'23"	11'55"
54	103	エラーム ノートン ダーシー	セントジョージ コンチネンタル サイクリングチーム	9:56'26"	11'58"
55	142	バク ソービン	韓国体育大学校	9:56'34"	12'06"
56	94	平 田 久仁枝	北海道地域選抜	9:56'39"	12'11"
57	154	モフド ザリフ モハマド ヌル アイマン	トレンガヌサイクリングチーム	9:56'47"	12'19"
58	92	西 尾 憲 人	北海道地域選抜	9:56'59"	12'31"
59	174	武 山 晃 輔	日本大学	9:57'16"	12'48"
60	145	バク スンモク	韓国体育大学校	9:57'20"	12'52"
61	91	伊 藤 舜 紀	北海道地域選抜	9:57'21"	12'53"
62	163	ベリー ジョシュ	セブンイレブン ロードバイク フィリピンズ	9:57'38"	13'10"
63	55	吉 田 隼 人	マトリックスパワータグ	9:58'20"	13'52"
64	52	フェルナンデス カサソラ アイラン	マトリックスパワータグ	9:58'20"	13'52"
65	34	樺 大 志	キナンサイクリングチーム	9:58'27"	13'59"
66	22	下 島 将 輝	那須ブラーゼン	10:00'49"	16'21"
67	42	モニエ ダミアン	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	10:01'16"	16'48"
68	182	今 村 駿 介	中央大学	10:01'39"	17'11"
69	183	直 井 駿 太	中央大学	10:01'42"	17'14"
70	61	入 部 正 太 朗	シマノレーシングチーム	10:01'47"	17'19"
71	143	イジェヒュン	韓国体育大学校	10:02'25"	17'57"
72	75	渡 辺 翔太郎	愛三工業レーシングチーム	10:02'47"	18'19"
73	14	小 林 海	NIPPO - ヴィーニ ファンティエニ	10:02'49"	18'21"
74	23	西 尾 勇 人	那須ブラーゼン	10:02'57"	18'29"
75	193	宮 崎 裕 史	北海道大学	10:03'57"	19'29"
76	164	金 子 大 介	セブンイレブン ロードバイク フィリピンズ	10:04'40"	20'12"
77	2	阿 部 嵩 之	宇都宮ブリッツェン	10:04'45"	20'17"
78	141	キューヒュクジン	韓国体育大学校	10:04'49"	20'21"
79	195	鈴 木 慎 人	北海道大学	10:05'46"	21'18"
80	65	水 谷 翔	シマノレーシングチーム	10:06'22"	21'54"
81	151	サレ モフド ハリフ	トレンガヌサイクリングチーム	10:06'22"	21'54"
82	144	カン ドング	韓国体育大学校	10:06'59"	22'31"
83	191	長 澤 優 樹	北海道大学	10:07'09"	22'41"
84	173	栗 原 悠 悠	日本大学	10:07'18"	22'50"
85	135	徳 田 匠 匠	鹿屋体育大学	10:08'31"	24'03"
86	123	吉 田 悠 人	インタープロサイクリングアカデミー	10:10'06"	25'38"
87	181	橋 詰 丈 丈	中央大学	10:10'29"	26'01"
88	175	鵜 沼 利 久	日本大学	10:11'06"	26'38"
89	125	中 田 拓 也	インタープロサイクリングアカデミー	10:11'11"	26'43"
90	153	アフマド ザムリハンマド ズルヒルミ アフィフ	トレンガヌサイクリングチーム	10:21'48"	37'20"
91	172	沢 田 桂太郎	日本大学	10:25'03"	40'35"

■個人総合ポイント賞

Pl.	Num	選手名	チーム名	Total
1	71	岡 本 隼	愛三工業レーシングチーム	42
2	13	デネグリ ビエールバオロ	NIPPO - ヴィーニ ファンティーニ	42
3	43	鈴 木 龍	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	37
4	33	ガルシア マルコス	キナンサイクリングチーム	34
5	12	ベルラート ジャコモ	NIPPO - ヴィーニ ファンティーニ	26
6	44	西 蘭 良 太	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	25
7	32	ルバトマ	キナンサイクリングチーム	20
8	85	フェルナンデス アヤルザグエナ エゴイツ	チーム右京	20
9	132	黒 枝 咲 哉	鹿屋体育大学	20
10	51	トリビオ ホセ ヴィセンテ	マトリックスパワータグ	19
11	84	ガルディオオトラ サルヴァドール	チーム右京	18
12	3	鈴 木 譲	宇都宮ブリッツェン	15
13	155	モレイドリュー	トレングスサイクリングチーム	14
14	55	吉 田 隼 人	マトリックスパワータグ	14
15	81	畑 中 勇 介	チーム右京	10
16	15	中 根 英 希	NIPPO - ヴィーニ ファンティーニ	9
17	35	雨 乞 竜 己	キナンサイクリングチーム	9
18	73	住 吉 宏 太	愛三工業レーシングチーム	8
19	63	湊 諒	シマノレーシングチーム	7
20	103	エラーム ノートン ダーシー	セントジョージ コンチネンタル サイクリングチーム	7
21	65	水 谷 翔	シマノレーシングチーム	7
22	171	草 場 啓 吾	日本大学	6
23	124	水 野 恭 兵	インタープロサイクリングアカデミー	5
24	123	吉 田 悠 人	インタープロサイクリングアカデミー	5
25	22	下 島 将 輝	那須ブラーゼン	5
26	11	バジオーリ ニコラ	NIPPO - ヴィーニ ファンティーニ	4
27	152	マット アミン モハマド シャルウ	トレングスサイクリングチーム	4
28	161	エワート ジェシー	セブンイレブン ロードバイク フィリピンズ	3
29	5	馬 渡 伸 弥	宇都宮ブリッツェン	3
30	24	岸 崇 仁	那須ブラーゼン	3
31	61	入 部 正太郎	シマノレーシングチーム	3
32	131	山 本 大 喜	鹿屋体育大学	2
33	64	秋 田 拓 磨	シマノレーシングチーム	2
34	174	武 山 晃 輔	日本大学	2
35	102	クーリー マーカス	セントジョージ コンチネンタル サイクリングチーム	1
36	74	小 森 亮 平	愛三工業レーシングチーム	1
37	125	中 田 拓 也	インタープロサイクリングアカデミー	1

■個人総合山岳賞

Pl.	Num	選手名	チーム名	Total
1	133	富 尾 大 地	鹿屋体育大学	13
2	171	草 場 啓 吾	日本大学	12
3	33	ガルシア マルコス	キナンサイクリングチーム	7
4	74	小 森 亮 平	愛三工業レーシングチーム	6
5	44	西 蘭 良 太	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	5
6	51	トリビオ ホセ ヴィセンテ	マトリックスパワータグ	3
7	2	阿 部 嵩 之	宇都宮ブリッツェン	3
8	32	ルバトマ	キナンサイクリングチーム	2
9	24	岸 崇 仁	那須ブラーゼン	2
10	12	ベルラート ジャコモ	NIPPO - ヴィーニ ファンティーニ	1
11	84	ガルディオオトラ サルヴァドール	チーム右京	1
12	5	馬 渡 伸 弥	宇都宮ブリッツェン	1
13	61	入 部 正太郎	シマノレーシングチーム	1
14	123	吉 田 悠 人	インタープロサイクリングアカデミー	1

■団体総合時間賞

Pl.	チーム名	Total	Behind
1	NIPPO - ヴィーニ ファンティーニ	29:14'36"	
2	キナンサイクリングチーム	29:15'53"	1'17"
3	チーム右京	29:16'09"	1'33"
4	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	29:19'05"	4'29"
5	セントジョージ コンチネンタル サイクリングチーム	29:19'30"	4'54"
6	愛三工業レーシングチーム	29:19'34"	4'58"
7	シマノレーシングチーム	29:23'29"	8'53"
8	宇都宮ブリッツェン	29:23'49"	9'13"
9	鹿屋体育大学	29:27'35"	12'59"
10	京都産業大学	29:27'58"	13'22"
11	マトリックスパワータグ	29:30'22"	15'46"
12	セブンイレブン ロードバイク フィリピンズ	29:30'43"	16'07"
13	トレングスサイクリングチーム	29:36'23"	21'47"
14	北海道地域選抜	29:36'48"	22'12"
15	インタープロサイクリングアカデミー	29:40'23"	25'47"
16	中央大学	29:47'13"	32'37"
17	韓国体育大学校	29:52'33"	37'57"
18	日本大学	29:54'56"	40'20"
19	那須ブラーゼン	29:55'52"	41'16"
20	北海道大学	30:16'52"	1:02'16"

■U26団体総合時間賞

Pl.	チーム名	Total	Behind
1	鹿屋体育大学	29:27'35"	
2	京都産業大学	29:27'58"	0'23"
3	セントジョージ コンチネンタル サイクリングチーム	29:29'21"	1'46"
4	NIPPO - ヴィーニ ファンティーニ	29:32'42"	5'07"
5	シマノレーシングチーム	29:38'55"	11'20"
6	北海道地域選抜	29:40'02"	12'27"
7	中央大学	29:47'13"	19'38"
8	韓国体育大学校	29:52'33"	24'58"
9	日本大学	29:54'56"	27'21"
10	那須ブラーゼン	29:55'52"	28'17"
11	トレングスサイクリングチーム	30:03'31"	35'56"
12	インタープロサイクリングアカデミー	30:07'30"	39'55"
13	北海道大学	30:16'52"	49'17"

2017 市民ロードレース

CITIZEN ROAD RACE

9/10 Sun



出走サインする選手

函館競輪場前～亀尾町～鉄山町～女那川町～銭亀町～湯川町～函館競輪場前……68km



開 会



主催者挨拶
高松 泰 ツール・ド・北海道協会常務理事



競技規則の説明
室井 文男 審判長



選手宣誓 小堀 敢太選手
受け 高松 泰 常務理事



スターター
辻 俊行 函館市教育委員会教育長



Aクラス函館競輪場前スタート



Bクラス函館競輪場前スタート



Cクラス函館競輪場前スタート



スタート直後の漁火通りを走る選手たち



泊漁港前 (44.5km地点) を走る選手たち



湯川町 (65km地点) を走る選手たち



函館競輪場前フィニッシュ



表彰(Aクラス)



表彰(Bクラス)



表彰(Cクラス)



表彰(一般女子の部)



表彰(中学生男子の部)



表彰(Aクラス ロイズ山岳賞)

成績一覧

クラス別成績

	順位	ナンバー	氏名	都道府県	タイム	順位	ナンバー	氏名	都道府県	タイム	順位	ナンバー	氏名	都道府県	タイム
●Aクラス	1	18	奥山太郎	岩手県	1:40:03	2	2	青木峻二	神奈川県	1:40:03	3	20	海藤颯	栃木県	1:40:03
●Bクラス	1	569	堂田恭平	北海道	1:44:34	2	1111	小堀敢太	北海道	1:44:35	3	362	永沢透	京都府	1:44:37
●Cクラス	1	1404	篠原輝利	茨城県	1:47:58	2	911	小野忠	埼玉県	1:47:58	3	745	高田智貴	兵庫県	1:49:46

区別成績

	順位	ナンバー	氏名	都道府県	タイム	順位	ナンバー	氏名	都道府県	タイム	順位	ナンバー	氏名	都道府県	タイム
●JCF登録者	1	18	奥山太郎	岩手県	1:40:03	2	2	青木峻二	神奈川県	1:40:03	3	20	海藤颯	栃木県	1:40:03
●上級者	1	232	東勝哉	千葉県	1:40:04	2	220	清水優	北海道	1:40:04	3	231	羽山洋平	北海道	1:40:05
●中級者	1	362	永沢透	京都府	1:44:37	2	387	山田長作	北海道	1:44:37	3	346	鈴木颯太	北海道	1:44:56
●初級者 40歳未満	1	569	堂田恭平	北海道	1:44:34	2	576	難波秀伍	北海道	1:44:37	3	603	森田琢也	北海道	1:44:56
●初級者 55歳未満	1	745	高田智貴	兵庫県	1:49:46	2	739	重山太介	鹿児島県	1:49:47	3	737	佐藤哲也	東京都	1:49:47
●初級者 55歳以上	1	911	小野忠	埼玉県	1:47:58	2	929	濱田力範	北海道	1:49:51	3	905	一木浩一郎	北海道	1:49:52
●一般女子	1	1013	米田和美	北海道	1:49:50	2	1002	刈田磨己	神奈川県	1:57:13	3	1006	角尾恵	東京都	1:59:25
●高校生男子	1	1111	小堀敢太	北海道	1:44:35	2	1112	島野翔汰	北海道	1:44:37	3	1123	渡邊諒馬	北海道	1:44:37
●高校生女子	1	1051	津田媛香	北海道	2:15:02	2	1052	堀田萌那	北海道	2:15:03					
●中学生男子	1	1404	篠原輝利	茨城県	1:47:58	2	1405	津田颯	北海道	1:49:49	3	1402	上野颯	北海道	1:53:16

ロイズ山岳賞

	順位	ナンバー	氏名	都道府県	順位	ナンバー	氏名	都道府県	順位	ナンバー	氏名	都道府県
●Aクラス	1	20	海藤颯	栃木県	2	21	海藤稜馬	大阪府	3	65	松井建太	宮城県
●Bクラス	1	569	堂田恭平	北海道	2	1123	渡邊諒馬	北海道	3	576	難波秀伍	北海道
●Cクラス	1	1404	篠原輝利	茨城県	2	728	小林拓哉	北海道	3	911	小野忠	埼玉県

ツール・ド・北海道2017 報道・広報-1

ツール・ド・北海道2017

Home コース情報 交通規制 リザルト 市民リザルト デーム 市民レース概要 スポンサー レース速報

■コース情報

STAGE 1 STAGE 2 STAGE 3

ツール・ド・北海道2017の概要
ツール・ド・北海道2017コース図(全体)
第1ステージコース概要図
第2ステージコース概要図
第3ステージコース概要図

ツール・ド・北海道2017 日程表

日付	ステージ	スタート	時間	フィニッシュ	予想時間	距離	表彰式
9月8日(金)	開会式	函館市 函館競輪場駐車場特設会場	8:30	-	-	-	-
9月8日(金)	第1ステージ	函館市 函館競輪場前	9:30	北斗市 運動公園前	13:29~13:46	162km	14:00
9月9日(土)	第2ステージ	北斗市 運動公園前	9:30	木古内町 JR木古内駅前	13:58~14:16	185Km	14:40
9月10日(日)	第3ステージ	函館市 函館競輪場前	9:30	函館市 函館山山頂	11:20~11:31	77Km	11:45
9月10日(日)	最終表彰式	函館市 函館山山頂駐車場特設会場	-	-	-	-	12:10

ツール・ド・北海道
ツール・ド・北海道は、1987年10月に日本最初の自転車ステージレースとして開催されてから今年で31回目を迎えます。第1回大会からは、国際自転車競技連合(UCI)の公認大会として承認され、国際大会としても21回目を迎え、海外からも多数のチームが参加を希望するなどいまや国内有数のステージレースになっています。

競技は、海外及び国内から20チームを招待して行われ、1チーム5人のチーム成績と個人成績の両方を争うステージレースです。各チームの選手は、国内選考を勝ち抜いたのは勿論、チームのエースに個人総合時間賞を獲らせようとして、様々な作戦でレースを展開します。

また、多くのサイクリストが自由に参加できる市民ロードレースを同時開催します。

本大会の開催により、参加選手の競技力向上と人材育成、サイクリスポートの普及・振興等を図るとともに、地域の観光・産業の振興、活性化等に貢献することを目指しています。

大会概要と日程

ツール・ド・北海道2017は、道南地域において9月8日(金)から9月10日(日)までの3日間、3ステージにわたるロードレースを開催します。

初日の9月8日(金)は、函館市「函館競輪場駐車場特設会場」において開会式を行った後、第1ステージのロードレースがスタートします。コースは函館市から北斗市、木古内町、江差町など2市5町の国道、道道などを走行し、北斗市(運動公園前)でフィニッシュする162kmのコースです。

翌日、9月9日(土)の第2ステージは、北斗市(運動公園前)からスタートし、知内町、松前町、上ノ国町など1市5町の公道185kmを走行して木古内町(JR木古内駅前)でフィニッシュします。

そして最終日、9月10日(日)の第3ステージは、函館市(函館競輪場前)からスタートして、函館市内の鉄山町から女部川川沿いに抜け、汐留岬を回って渚の川温泉街を疾走し、函館山山頂でフィニッシュする77kmのロードレースを行い全ての行程を終えます。

広大な北海道の大自然の中を町から町へと公道を使用して走る本格的な自転車ステージレース、3日間の総走行距離は424kmに及びます。

ステージレース

- 開会式 9月8日(金)から9月10日(日)までの3日間
- 開会式 9月8日(金) 8時30分～9時00分 函館市「函館競輪場駐車場特設会場」
- 各ステージの日程
 - 第1ステージ(ロードレース) 9月8日(金) (162km)
函館市(S:函館競輪場前9:30)～北斗市～木古内町～知内町～木古内町～上ノ国町
～江差町～厚沢部町～北斗市(F:運動公園前13:29ごろ)
 - 第2ステージ(ロードレース) 9月9日(土) (185km)
北斗市(S:運動公園前9:30)～木古内町～知内町～福島町～松前町～上ノ国町～木古内町(F:JR木古内駅前13:58ごろ)
 - 第3ステージ(ロードレース) 9月10日(日) (77km)
函館市(S:函館競輪場前9:30)～(亀尾町)～(鉄山町)～(女部川町)～(汐留岬)～(渚川町)～(大森沢)～前函館市(F:前函館山山頂11:20ごろ)
- 出場予定チーム
海外及び国内から合計20チーム、100名の選手の出場を予定しています。
- 表彰式
表彰式は、各ステージのフィニッシュ地点特設会場においてそれぞれ行います。
- 最終表彰式
9月10日(日) 12時10分～12時30分
函館市「函館山山頂駐車場特設会場」

○関係市町村の紹介(公式HPへ)

函館市 北斗市 木古内町 知内町 上ノ国町
江差町 厚沢部町 福島町 松前町

●HP コース情報



5/11 道新スポーツ



5/11 函館新聞



●交通規制広告-1



●交通規制広告-2



●交通規制広告-3



5/11 北海道新聞

北海道新聞 2017年(平成29年)9月5日(火曜日)

[illegible]

北海道新聞 2017年(平成29年)9月7日(木曜日)

9/7 北海道新聞

9/7 朝日新聞

9/7 読売新聞

23 特集

2017年(平成29年)9月7日(木曜日)

北海道新聞

第14版(第10000号)



ツール・ド・北海道2017 コース図

レース展望 ビセンテ軸 日本勢は増田ら注目

ツール・ド・北海道2017の第1ステージは、9月7日(木曜日)の朝早くからスタートし、道南を駆け抜ける。日本勢は増田らに注目が集まる。ビセンテは、昨年のツール・ド・北海道で総合優勝を果たした。今年は、ビセンテが再び優勝を目指す。日本勢は、増田らに注目が集まる。増田は、昨年のツール・ド・北海道で総合2位に終わった。今年は、増田が再び優勝を目指す。増田は、昨年のツール・ド・北海道で総合2位に終わった。今年は、増田が再び優勝を目指す。増田は、昨年のツール・ド・北海道で総合2位に終わった。今年は、増田が再び優勝を目指す。

道南各地で交通規制
ツール・ド・北海道2017の第1ステージは、9月7日(木曜日)の朝早くからスタートし、道南を駆け抜ける。道南各地で交通規制が行われる。ツール・ド・北海道2017の第1ステージは、9月7日(木曜日)の朝早くからスタートし、道南を駆け抜ける。道南各地で交通規制が行われる。ツール・ド・北海道2017の第1ステージは、9月7日(木曜日)の朝早くからスタートし、道南を駆け抜ける。道南各地で交通規制が行われる。

道南424キロ 初秋を駆ける



個人・団体賞
ツール・ド・北海道2017の第1ステージは、9月7日(木曜日)の朝早くからスタートし、道南を駆け抜ける。個人・団体賞の争いが激しい。個人賞は、増田らに注目が集まる。団体賞は、増田らに注目が集まる。増田は、昨年のツール・ド・北海道で総合2位に終わった。今年は、増田が再び優勝を目指す。増田は、昨年のツール・ド・北海道で総合2位に終わった。今年は、増田が再び優勝を目指す。

出場チーム
ツール・ド・北海道2017の出場チームは、増田らに注目が集まる。増田は、昨年のツール・ド・北海道で総合2位に終わった。今年は、増田が再び優勝を目指す。増田は、昨年のツール・ド・北海道で総合2位に終わった。今年は、増田が再び優勝を目指す。

日程とコース
ツール・ド・北海道2017の日程とコースは、増田らに注目が集まる。増田は、昨年のツール・ド・北海道で総合2位に終わった。今年は、増田が再び優勝を目指す。増田は、昨年のツール・ド・北海道で総合2位に終わった。今年は、増田が再び優勝を目指す。

函館山頂でフィニッシュ
ツール・ド・北海道2017の第1ステージは、9月7日(木曜日)の朝早くからスタートし、道南を駆け抜ける。函館山頂でフィニッシュが行われる。ツール・ド・北海道2017の第1ステージは、9月7日(木曜日)の朝早くからスタートし、道南を駆け抜ける。函館山頂でフィニッシュが行われる。

9/7 北海道新聞

2017年(平成29年)9月7日(木曜日)

北海道新聞

ツール・ド・北海道 7年ぶり道南開催



2010年9月に開かれたレースの様子(北斗市内の国道227号線)

ツール・ド・北海道2017の第1ステージは、9月7日(木曜日)の朝早くからスタートし、道南を駆け抜ける。ツール・ド・北海道2017の第1ステージは、9月7日(木曜日)の朝早くからスタートし、道南を駆け抜ける。

白熱の3日間 道南駆ける
ツール・ド・北海道2017の第1ステージは、9月7日(木曜日)の朝早くからスタートし、道南を駆け抜ける。白熱の3日間、道南を駆ける。ツール・ド・北海道2017の第1ステージは、9月7日(木曜日)の朝早くからスタートし、道南を駆け抜ける。白熱の3日間、道南を駆ける。

9/7 函館新聞

2017年(平成29年)9月8日(金曜日)

北海道新聞

道南各地で交通規制

ツール・ド・北海道2017の第1ステージは、9月7日(木曜日)の朝早くからスタートし、道南を駆け抜ける。道南各地で交通規制が行われる。ツール・ド・北海道2017の第1ステージは、9月7日(木曜日)の朝早くからスタートし、道南を駆け抜ける。道南各地で交通規制が行われる。

9/8 函館新聞

北海道新聞

25 スポーツ 14版 2017年(平成29年)9月8日(金曜日)

9度目の出場 神恵内出身・阿部

悲願 ステージ優勝へ全力



後志管内神恵内村出身の阿部は、31歳で都立大付属高校からプロ入り。昨年は9度目の出場。「果たしては9度目の優勝を掴む」という思いで、昨年は個人総合優勝を挙げたが、阿部は「素直に喜べなかった」という。昨年は落車で左手首を骨折。このままでは勝てない」と、

9度目の出場でステージ優勝を狙う後志管内神恵内村出身の阿部(岩崎勝範撮影)

昨年1月に専属トレーナーと契約。自分で練習内容を組み立てて、自分が「苦しいな」と思ったら、自分で調整した。昨年は、自分が第1ステージを制し、チームを引っ張る」と力を込めた。(泉本亮介)

技術顧問、北海道新聞社特別協力。は8日、函館市の函館競輪場前を出発する。第1ステージ162.2キロで、函館山山頂でフィニッシュする。大会最高の栄誉とされる。大会最高の栄誉とされる。

ツール・ド・北海道 きょう開幕

国内最大級のステージ制ロードレース「ツール・ド・北海道」が、8日、函館市の函館競輪場前を出発する。第1ステージ162.2キロで、函館山山頂でフィニッシュする。大会最高の栄誉とされる。

9/8 北海道新聞

北海道新聞(夕刊)

2017年(平成29年)9月8日(金曜日)



光る銀輪 駆ける秋 ツール・ド・北海道開幕

20チーム98人

【函館】国内最大級のステージ制自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が、8日、函館市の函館競輪場前を出発する。第1ステージ162.2キロで、函館山山頂でフィニッシュする。大会最高の栄誉とされる。

国内最大級のステージ制自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が、8日、函館市の函館競輪場前を出発する。第1ステージ162.2キロで、函館山山頂でフィニッシュする。大会最高の栄誉とされる。

9/8 北海道新聞(夕刊)

室蘭民報(夕刊)

2017年(平成29年)9月8日(金曜日)

ツール・ド・北海道開幕

道南の2市7町が舞台に3日間、3ステージを行う。総走行距離は424.4キロで、函館山山頂でフィニッシュする。大会最高の栄誉とされる。



「ツール・ド・北海道」が開幕、一斉にスタートする選手たち。8日午前、函館市選出選手たち(岩崎勝範撮影)

国内最大級のステージ制自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が、8日、函館市の函館競輪場前を出発する。第1ステージ162.2キロで、函館山山頂でフィニッシュする。大会最高の栄誉とされる。

9/8 室蘭民報(夕刊)

日本経済新聞

2017年(平成29年)9月9日(土曜日)

ツール・ド・北海道開幕

道南の2市7町が舞台に3日間、3ステージを行う。総走行距離は424.4キロで、函館山山頂でフィニッシュする。大会最高の栄誉とされる。



国内最大級のステージ制自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が、8日、函館市の函館競輪場前を出発する。第1ステージ162.2キロで、函館山山頂でフィニッシュする。大会最高の栄誉とされる。

9/9 日本経済新聞

北海道新聞 2017年(平成29年)9月9日(土曜日)



道南舞台「ツール・ド・北海道」開幕
観客ら笑顔で声援

8日に開演の「市7町を舞に」で連日、市内の市街を走る。市内各級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海海境07」の初日は午前8時半に函館競馬場(金海町)から20キロ、約1時間10分の選手が競走し、約1,000人を駆け抜けた。函館市と北斗市との道では観衆やチーム関係者から笑顔の声を送った。

函館競馬場前で行われた開会式では、藤森樹市市長が「サイクルスポーツの魅力

をなにとともに、函館市街を道南の色彩も楽しんでいける」と意気込み、国内外の選手たちは青森道下、スタート地点は二軒走り、函館競馬場の付近は多くのファンや関係者でにぎやかだ。

道庁から大森で函館三好旅行社の鈴木貞仁さんに「函館市は、函館市に選ばれたがいて開催地を知った技術を、自分ら自転車技を、歩いてい、走り、なになりま」と自

細々と、戦艦沈没の
所に住む石黒紀男
人(63)は「7年ぶ
りに道南で華やかに
かかれてうれしい。」
技の本場・イタリア
のチームを応援し
てと笑顔で話した
選手は函館市内
抜けた後に木古内
の海岸沿いと厚沢
の海岸沿いの



函館競輪場を一斉に出発する選手たち（西村昌晃撮影）

町の勾配の激しい山岳コースを通り、ゴールの北斗市運動公園まで力いっぱいペダルをこいだ。

2日目の9日は北斗市から福島の山岳コースを登り、由して海岸線を取り、JR不古内駅でゴールする。最終日の10日は函館競輪場前から恵山、戸井地区を取り、

西館登山道を駆け上つて山頂でフィニッシュする。
10日は市民ロードレースも同時開催される。道内外からの約600人の参加者が年齢や実力ごとに3クラスに分かれ、西館競輪場がスタート・ゴール地点の68キロを走る。

〔西本紗保美〕

9/9 北海道新聞

聞 新 登 記

2017年(平成29年)9月9日(土曜日)

ツール・ド・北海道開幕
函館山に初のコース



ツール・ド・北海道が開幕し、勢いよくスタートする選手（8日、函館市で）

国内最大規模の自転車ロ
ードレース「ツール・ド・

北海道」が8日、函館市で開幕した。道南での開催は

楽しみで早起した。生で見る選手たちはかつこよか

7年ぶり8回目。10日までの3日間で、国内外20チームの約100人の選手が、計4244¹・4²のコースを駆け抜けた。

初日は函館競輪場前(函館市)をスタート。木古内町から山間部に入って江差町などを通り、北斗市を目指す162³・4²のコースに挑んだ。沿道の市民から声援が送られ、自転車競技を題材にしたアニメが好きで、初めて観戦に来たという函館市のパート従業員菅原里奈さん(24)は「とても

つた」と話した。

最終日の10日は、大会史上初めて函館山の登山道を登るコースが設定され、白熱したレース展開が予想される。

9/9 読売新聞

目刊又ホ一ツ

2017年(平成29年)9月9日 土曜日



ツール・ド・北海道が開幕し、一斉にスタートする選手たち＝函館市

9/9 日刊スポーツ

◇自転車
道第1（8日） 函館市・北斗市
▽第1ステージ（150キロ）
①鈴木龍广3分28秒②デナグリ（イタ）
3時間36分33秒③デナグリ（イタ）
3時間36分33秒④デナグリ（イタ）
3時間36分33秒⑤岡本
（愛ニ工業）3時間36分33秒
※1～3位は着差あり
▽第1日の個人総合
①鈴木龍广3分28秒②デナグリ（イタ）
3時間35分53秒③デナグリ（イタ）
3時間36分07秒④デナグリ（イタ）
3時間36分07秒⑤岡本
（愛ニ工業）3時間35分59秒
▽団体総合
①NIPPONヴィーファアン
3時間35分59秒②デナグリ（イタ）
3時間36分07秒③デナグリ（イタ）
3時間36分07秒④デナグリ（イタ）
3時間36分07秒⑤岡本
（愛ニ工業）3時間35分59秒

※2、3位は各チーム上位3人の順位合計による

2017年(平成29年)9月9日(土曜日)

北海道新聞

鈴木第1S優勝

● ツール・ド・北海道2
817 (8日・函館市 北
茅市) 総走行距離162
国内最大級の自転車
ロードレースが開催し、第

後方のメイソン集団に分かれる展開。一時は約7分50秒の差が開いた。しかし残り約15分の日岳ポイントでメイソン集団が追いつき一つの集団に。最後の100分は

大混戦となったが、鈴木が制した。

9日の第2ステージは北斗市運動公園前を出発し、23年ぶりに渡島半島西部を走行する。フィニッシュ

阿部嘉之(後志管内神恵内村出身)逃げ切れず18日、良いトライだった。逃げ集団の若手選手にレースの心得などを話せて有意義な時間だった」

は鈴木龍(ブリヂストンアンカー)が3時間36分3秒で優勝した。2位にイタリ

最終盤 混戦制す

トップ入が續でゴ
ールした勝利の確信があ
った。鈴木は膝から力ま
す。彼は膝下りで走っ
て、俺が優勝したんだと大さ
に手を左右に振った。

逃げ集団は二時八分近い
差がついたものの、最後の
スプリント勝負まで着き
たのはバードワックし
てくれたヌメーロのおか
げと鈴鹿。所属のアリ
ダストン・アカーの準た

ちが後のスイス集団(今
つ張り、フニツシュマ
残り約15 峠地の山京が有
りた約15 峠地に追いつ
れ残り5 地点は同チーム
の西國が鈴木を抜ける出
る)に位置取りつつある
ように、最後にフランス勝勢
を仕掛け大混戦劇にした。
「最後の峠がキ」になら
ず、3週間でいたはずの
鈴鹿、3週間前には長門
を先行した後、第一スプ

ジの最後の山岳ポイントに似た山を駆け上り、錫杖を反折して復し、この日、隘路をかわりてきた。

洗練されたチームワークと入念な準備でつかみ取ったステジ優勝。個人総合時間首位の選手と渡される緑のジャージを初めて着用した鈴木は「これを最後まで着られるようにしたい」と笑った。(泉本亮)

9/9 北海道新聞

2017年(平成29年) 9月9日 (土曜日)

2017年(平成29年)9月9日(土)

424キロ 自転車疾走



国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が、函館市で開幕した。海外を含む20チーム98人が参加。初日は津軽海峡を望む海沿いを疾走し、木古内町の山間部へ。3日間で道南の2市7町、計424キロを走り抜け、ゴールの函館山山頂を目指す。30面

9/9 朝日新聞



「ツール・ド・北海道」開幕

初秋の道南を疾走

国内有数の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が8日、函館市競輪場からスタートした。全行程約424キロ、すべて道南地域で実施される白間のレースには国内外から20チーム総勢98選手が参戦。初日は大空に恵まれた初秋の道南を疾走しながら、第1ステージ(162キロ)を走破した。

日本初のステージレースである同大会は、今回で31回目を数え、国際自転車競技連合(UCI)公認大会となつて2回目を迎える。大自然の中を町から町へ公道を使って巡る本格的ロードレースは、コースを3ステージに分けて走る。道南開催は2010年(第24回大会)以来7年ぶり8回目。競技は1チーム5人の団体と個人タイムを競い、さまざまな駆け引きが見られるのも魅力の一つ。今大会には海外から5チーム、国内からは大や道遠坂など15チームがエントリーした。観戦に先立って行われた開会式で、主催者を代表して同協会の山本隆幸理事長(大会長)が「サイクリン選手が選手宣誓を行った。午前9時半に同所を出発。参加する市民ロードレースは、5・6キロのバも行われる。

9/9 函館新聞

2017年(平成29年)9月9日(土)



舞台は道南 銀輪力走

ツール・ド・北海道開幕

国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が8日、函館市をスタートし開幕した。今年の舞台は道南地域。3日間で2市7町をまたぐ計424キロを走り抜け、最終日の10日は函館山山頂のゴールをめざして駆け登る。今年で31回目。道南での開催は7年ぶりだ。国内の実業団や大学のほか、イタリア、オース

トラリアなどの海外チームを含む20チーム98人が参加した。初日の第1ステージは函館競輪場前から北斗市までの162キロで競い合った。津軽海峡を望む海沿いを疾走した選手たちは、木古内町から山間部に入ると、さらに力強くペダルを踏み込んだ。第2ステージは、浜風を受けながら松前半島をまわって木古内に戻る185キロのコース。最終日の第3ステージは函館市内の77キロで争い、勾配のきついヘアピンカーブを力走して函館山山頂でフィニッシュする。

(阿部啓明)

9/9 朝日新聞

～市町村広報誌等の広報-①～

ツール・ド・北海道2017 報道・広報-10

～市町村広報誌等の広報-②～

ツール・ド・北海道2017開催のお知らせ

国際自転車競技連合(UCI)公認の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2017」が9月8日(金)～9日(土)の2日間、道南9市町42.4kmを走ります。海外及び国内から20チーム100名が出場予定。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会です。是非道南から応援してください。

【第1ステージ】9月8日(金) 道南9市町42.4km 道南9市町42.4kmを走ります。海外及び国内から20チーム100名が出場予定。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会です。是非道南から応援してください。

【第2ステージ】9月9日(土) 道南9市町42.4km 道南9市町42.4kmを走ります。海外及び国内から20チーム100名が出場予定。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会です。是非道南から応援してください。

【第3ステージ】9月10日(日) 道南9市町42.4km 道南9市町42.4kmを走ります。海外及び国内から20チーム100名が出場予定。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会です。是非道南から応援してください。

【第4ステージ】9月11日(月) 道南9市町42.4km 道南9市町42.4kmを走ります。海外及び国内から20チーム100名が出場予定。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会です。是非道南から応援してください。

【第5ステージ】9月12日(火) 道南9市町42.4km 道南9市町42.4kmを走ります。海外及び国内から20チーム100名が出場予定。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会です。是非道南から応援してください。

【第6ステージ】9月13日(水) 道南9市町42.4km 道南9市町42.4kmを走ります。海外及び国内から20チーム100名が出場予定。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会です。是非道南から応援してください。

【第7ステージ】9月14日(木) 道南9市町42.4km 道南9市町42.4kmを走ります。海外及び国内から20チーム100名が出場予定。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会です。是非道南から応援してください。

【第8ステージ】9月15日(金) 道南9市町42.4km 道南9市町42.4kmを走ります。海外及び国内から20チーム100名が出場予定。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会です。是非道南から応援してください。

【第9ステージ】9月16日(土) 道南9市町42.4km 道南9市町42.4kmを走ります。海外及び国内から20チーム100名が出場予定。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会です。是非道南から応援してください。

【お問い合わせ】 ツール・ド・北海道2017実行委員会 ☎ 011-222-5922 | <http://www.tour-de-hokkaido.jp>

●木古内町 広報 きこない 9月号(折込チラシ)

Public information 広報 きこない

2017 October Kikonai TownNews Magazine

「山間部を銀輪が駆け抜ける」
～9/8～10 ツール・ド・北海道～

木古内・永盛保育園運動会 2～3

町民の運動会を盛り上げます。ほか 4 お人さん、健康センターより 10

建設工事・委託業務発注結果。ほか 5 教育インフォメーション 11

町の新しい委員さんです。ほか 6 くらしの情報、国保病院の予定 12

病院の紹介をします。ほか 7 10月のカレンダー 14

フォトビックス 8

●木古内町 広報 きこない 10月号表紙

北海道知内町 @shiruchi_town 9月5日

自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2017」が今週8日(金)から開催されます。知内町内を走るのは9日(土)の10:20～10:50頃の予定です！一流選手の迫力あるレースを間近で観戦、応援しましょう。当日は交通規制にご注意ください！

#しりうち #ツール北海道 #自転車

ツール・ド・北海道2017 9月9日 交通規制のお知らせ

9月9日(土) 道南9市町42.4km 道南9市町42.4kmを走ります。海外及び国内から20チーム100名が出場予定。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会です。是非道南から応援してください。

●知内町 公式ツイッター 9月掲載

一広報ふくしま 9月号

ツール・ド・北海道が23年ぶりに福島町内を走ります

国際自転車競技連合(UCI)公認の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2017」が9月8日(金)～9日(土)の2日間、道南9市町42.4kmを走ります。海外及び国内から20チーム100名が出場予定。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会です。是非道南から応援してください。

9月9日(土) 〈ロードレース・185km〉北斗市運動公園9:30スタート～木古内町～知内町～福島町～松前町～上ノ国町～J R 木古内駅前 13:58ころフィニッシュ

国道 228 号福島トンネル出口 10:40～11:05 ころ対向車通行止

観戦スポット 道の駅橋本の里 ふくしま前 11:06～11:14 ころ通過予定

福島町内の通過予想時刻 第2ステージ 9月9日(土) 知内町との境界10:45ころ～道の駅前 11:06ころ～松前町との境界11:21ころ

交通規制にご協力をお願いします

上記のほか観戦車列通過時刻の約3分前から車列が通過するまでの間(最大で20分程度)、車両・歩行者の通行制限等交通規制が行われます。ご理解のうえ、現場の警察官の指示に従ってください。また、池澤が予想されますので、規制時間等を避けるが注意されるなど、交通の遅延緩和にご協力をお願いします。

★規制の方法

観戦車列は、先頭に規制予告バトカー、最後尾には規制解除のバトカーが来ます。観戦車列に同行する車両は、後方を追従して走行できますが、車列の追い越しや割り込みはできません。観戦車列に同行する車両は、規制された区域以外では通行して走行できますが、右折、横断、展開はできませんので注意してください。

【お問い合わせ】 福島町教育委員会事務局生涯学習課 ☎0139-47-3675
ツール・ド・北海道2017実行委員会 ☎011-222-5922
ホームページ: <http://www.tour-de-hokkaido.jp>

●福島町 広報 ふくしま 9月号掲載

ツール・ド・北海道2017 報道・広報-11

～市町村広報誌等の広報-③～

ツール・ド・北海道2017 が松前町を通過
迫力のレースをぜひご覧ください

9月9日(土)、自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2017」の第2ステージが行われ、松前町を通過します。

当日は、白神地区から原口地区の国道が交通規制となり、一部国道に出られない時間帯がありますので、町民皆さまのご理解とご協力をお願いします。

国内外から20チーム100名が参加予定！一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる機会です。ぜひ道道から応援してください！！

通過日時 9月9日(土) 11:00～12:30

通過予定時刻

場 所	先頭選手	最終選手
白神町展望台	11時24分	11時34分
大沢漁港	11時31分	11時41分
道の駅北前船松前 ※道の駅の前では、国道を全面通行止めにして「中間スプリント」(タイムトライアル)を実施します。レースの見せ場となるポイントです。白熱のレースを道道からご覧ください。	11時36分	11時46分
小島小学校前	11時51分	12時03分
パートナーシップランド国道沿い	12時03分	12時15分
原口大橋	12時13分	12時26分

第2ステージ コース 北斗市→本古内町→協島町→**松前町**→上ノ国町→本古内町

競 技 車 両 選手(100名)が通過する前後に関係車両(自動車)が約60台通過します。

交通規制にご協力をお願いします

(1) 町内各地区の国道に接続する、すべての道路には、整理員が配置されますので、整理員の指示に従ってください。

(2) 国道にある信号機なども規制します。

(3) 交通規制は、先頭選手が通過する約15分前から、最後尾の車両が通過した後までとなりますので、各地区では30～40分程度の交通規制が行われます。

お問い合わせ 文化社会教育課 ☎42-3060

●松前町 広報 まつまえ9月号掲載

広報 まつまえ
 まつまえ
 ～颯爽と走り抜ける～

9/9 ツール・ド・北海道2017
 23年ぶりに松前を走行！
 多くの方が道道から応援していました。

今月の主な内容
 まつまえ「ツール・ド・北海道2017」第2ステージ
 松前中高校クワランが人気に生み出されました
 インフルエンザ予防接種を受けました
 10月号17

平成29年 10 No.726
<http://www.matsunae.co.jp>
 「まつまえ」のロゴは金沢市立大学のデザイン

●松前町 広報 まつまえ10月号表紙

23年ぶりに松前が舞台に
ツール・ド・北海道

9月9日、国内最高峰の自転車競技レース「ツール・ド・北海道2017」が、23年ぶりに松前を通過しました。

当日は、北斗市を9時30分にスタートし、11時30分頃に松前町に入りました。道の駅「北前船・松前」前の国道では、全面規制がなされ、タイムトライアルが行われ、激しいデットヒートが繰り広げられました。また、国道沿いには、選手を応援する多くの町民の姿が見られました。

●松前町 広報 まつまえ10月号掲載

9月イベントカレンダー

・8日 ツール・ド・北海道
 ※交通規制があります。詳しくは広報折込チラシをご覧ください。

●江差町 広報 えさし9月号掲載

ツール・ド・北海道レース
いにしえ街道を駆け抜ける

自転車ステージレース「ツール・ド・北海道2017」が9月8日函館市で開幕し、10日までの3日間で、道南9市町42kmを走破しました。

江差町は8日(金)のレースとなり、海岸沿いの国道227号線から、いにしえ街道を駆け抜けました。迫力あるレースに、沿道の町民からたくさん声援が送られました。

●江差町 広報 えさし10月号掲載

～市町村広報誌等の広報-④～

●上ノ国町 広報 かみのくに 9月号掲載

●厚沢部町 広報 あっさぶ9月号掲載

●厚沢部町 広報 あっさぶ10月号掲載

●厚沢部町 広報 あっさぶ8月号掲載

●(一財)北海道開発協会 広報誌 開発こうほう8・9月号掲載

— その他の広報活動 —

■ イベント情報掲載

- ◎ 「じゃらんnet」北海道のイベント(協同組合インフォメーションテクノロジー関西)
- ◎ 「Yahoo!JAPANロコ」北海道のイベント(協同組合インフォメーションテクノロジー関西)
- ◎ 「じゃらんnet」北海道のイベント(協同組合インフォメーションテクノロジー関西)
- ◎ 「駅たびnet」イベント情報(J R 東日本)
- ◎ 「webサイトぐうたび北海道」イベント情報(北海道バリューズコープ)
- ◎ 「サイクルスポーツ」イベント情報7～9月号(八重洲出版)
- ◎ 「北海道Likers」イベント情報(日本アメニティクリエイト)
- ◎ 「まいふれ函館」イベント情報(プリントハウス)
- ◎ 「はこぶら」イベント情報(函館市公式観光サイト)
- ◎ 「函館山山頂に係る規制のお知らせ」(函館市公式ホームページ)
- ◎ 「函館山登山道(車道)通行止めのお知らせ」(一般財団法人函館市住宅都市施設公社ホームページ)
- ◎ 「ツール・ド・北海道2017開催に伴う交通規制のお知らせ」(函館山ロープウェイ株式会社)
- ◎ 「ツール・ド・北海道2017道南」開催(イベント情報:一般社団法人函館国際観光コンベンション協会ホームページ)
- ◎ 「第31回 ツール・ド・北海道2017道南大会」(はこだて情報:函館ホテル旅館協同組合ホームページ)

■ テレビ放送

HTB (道内)	9月7日(木) 開催告知	16時33分～16時44分
HTB (道内)	9月8日(金) ニュース	11時41分～11時42分
NHK (道内)	9月8日(金) ニュース	12時17分～12時18分
NHK (全国)	9月8日(金) ニュース	14時02分～14時03分
HTB (道内)	9月10日(日) ニュース	17時51分～17時52分
HTB (道内)	9月11日(月) ニュース	6時34分～6時35分
HTB (道内)	10月9日(月・体育の日)	14時00分～14時58分

■ ラジオ放送

F M いるか 9月1日(金)～9月10日(日) (スポット放送 CM25秒×85件、CM30秒×5件)

■ 函館ショッピングセンター「ポールスター」での展示 (8月31日～9月7日 ツール・ド北海道2017開催PR)

ツール・ド・北海道2017 主催・後援・協力・協賛一覧

●主催

公益財団法人ツール・ド・北海道協会
公益財団法人日本自転車競技連盟

●後援

国土交通省
スポーツ庁
経済産業省
北海道
北海道市長会
北海道町村会
公益財団法人JKA
公益財団法人日本体育協会
公益財団法人日本オリンピック委員会
一般財団法人日本自転車普及協会
一般社団法人自転車協会
NHK札幌放送局
北海道テレビ放送株式会社
北海道経済連合会
一般社団法人北海道商工会議所連合会
公益社団法人北海道観光振興機構
一般社団法人北海道建設業協会
一般社団法人北海道舗装事業協会
一般社団法人日本道路建設業協会北海道支部
北海道アスファルト合材協会
一般社団法人北海道バス協会
公益社団法人北海道トラック協会

●特別協力

北海道新聞社

●協力

北海道開発局
北海道経済産業局
函館市
北斗市
木古内町
知内町
上ノ国町
江差町
厚沢部町
福島町
松前町
公益財団法人北海道体育協会

一般財団法人北海道交通安全協会
北海道自転車競技連盟
北海道自転車軽自動車商業協同組合
北海道自転車協会
北海道サイクリング協会
特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会

●特別協賛

株式会社NIPPON
株式会社ロイズコンフェクト
株式会社SUBARU

●協賛各社・その他協力

株式会社阿部商会
アメアスポーツジャパン株式会社（マヴィック）
井上ゴム工業株式会社
ウェッジ株式会社
株式会社大塚製薬工場OS-1事業部 営業部札幌支店
京極製氷株式会社
サッポロビール株式会社
株式会社JTB北海道
株式会社シマノ
シマノセールス株式会社
有限会社スタジオアオヤマ
株式会社日直商会
ニッポンレンタカー北海道株式会社
パナソニックサイクルテック株式会社
株式会社パールイズミ
函館朝市協同組合連合会
ベルノ・リカール・ジャパン株式会社
株式会社マトリックス
株式会社丸ヨ池内
株式会社札幌標板製作所

岩田地崎建設株式会社
こぶし建設株式会社
大成建設株式会社
中大実業株式会社
道興建設株式会社
株式会社ドボク管理
株式会社中山組
一般財団法人日本気象協会北海道支社
北土建設株式会社
和工建設株式会社

北海道新聞函館支社
シーニックバイウエイ北海道 函館・大沼・噴火湾ルート
函館湯の川温泉旅館協同組合
NPO法人スプリングボードユニティ21
箱館会、函館レクリエーション協会、湯の浜ホテル、湯元啄木亭、花びしホテル、ホテル万惣、HAKODATE海峡の風、有限会社ネクスト
函館ショッピングセンター ポールスター
東武トップツアーズ株式会社函館支店

ツール・ド・北海道2017 大会役員名簿

● 総 裁 綿 貫 民 輔 公益財団法人ツール・ド・北海道協会会長

● 副 総 裁 高 橋 はるみ 北海道知事[協会顧問]
秋 元 克 広 札幌市長[協会顧問]
西 原 巧 公益財団法人ツール・ド・北海道協会顧問
眞 田 眞 公益財団法人ツール・ド・北海道協会顧問

● 大 会 長 山 本 隆 幸 公益財団法人ツール・ド・北海道協会理事長

● 副大会長 橋 本 聖 子 公益財団法人日本自転車競技連盟会長
笹 部 俊 雄 公益財団法人JKA会長

● 大会顧問 和 泉 晶 裕 国土交通省北海道開発局長
児 嶋 秀 平 経済産業省北海道経済産業局長

● 大会参与(五十音順)

池 田 明 聡 池田明聡公認会計士事務所公認会計士	白仁田 洋 介 公益財団法人JKA執行理事
石 川 栄 男 株式会社NIPPO北海道支店執行役員支店長	住 吉 徳 文 サッポロビール株式会社北海道本社副代表
石 橋 弘 次 公益財団法人北海道体育協会副会長	高 井 修 北海道経済連合会副会長
石 山 英 雄 松前町長	高 松 泰 公益財団法人ツール・ド・北海道協会常務理事
大 野 幸 孝 知内町長	高 谷 寿 峰 北斗市長
大 森 伊佐緒 木古内町長	田 中 栄 作 一般財団法人日本自転車普及協会常務理事
小 川 魁 北海道サイクリング協会副会長	棚 野 孝 夫 北海道町村会会長(白糠町長)
小 川 敏 雄 社会福祉法人扶桑苑理事長	辻 信 三 医療法人東桑会札幌北クリニック情報管理顧問
菊 池 一 雄 国土交通省北海道開発局函館開発建設部長	恒 松 浩 公益財団法人ツール・ド・北海道協会理事
菊 谷 秀 吉 北海道市長会会長(伊達市長)	照 井 誉之介 江差町長
工 藤 壽 樹 函館市長	鳴 海 清 春 福島町長
工 藤 昇 上ノ国町長	林 辰 夫 公益財団法人日本自転車競技連盟副会長
小 磯 修 二 北海道大学公共政策大学院前釧路公立大学学長	日 浅 尚 子 株式会社道新文化センター代表取締役社長
斉 藤 智 徳 株式会社北英建設顧問	安 江 哲 株式会社北未来技研顧問
坂 敏 弘 一般社団法人北海道建設業協会副会長	渡 辺 一 郎 一般社団法人北海道舗装事業協会会長
渋 田 正 己 厚沢部町長	渡 邊 実 公益財団法人JKA専務理事

ツール・ド・北海道2017 実行委員会名簿

委員長	森 野 和 泰	公益財団法人北海道体育協会副会長
副委員長	穴 田 勝 彦	公益財団法人日本自転車競技連盟参与
副委員長	小 野 盛 秀	北海道自転車競技連盟会長
副委員長	高 松 泰	公益財団法人ツール・ド・北海道協会常務理事

所属	委員	幹事
----	----	----

■各団体

北海道自転車軽自動車商業協同組合	理事長	小 野 盛 秀	副理事長 副理事長	高 橋 嘉 弘 服 部 好 泰
北海道自転車協会	会 長	村 山 文 彦		
北海道サイクリング協会	副 会 長	小 川 魁	理 事 長	村 上 昌 美
特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会	代表理事	浜 島 泉	理 事	池 内 勝 治
一般財団法人北海道交通安全協会	専務理事	北 森 繁	常務理事	新 谷 恵 司
公益財団法人北海道体育協会	専務理事	坂 本 和 彦		
公益社団法人北海道観光振興機構	専務理事	村 上 則 好		

■国土交通省 北海道開発局

国土交通省 北海道開発局	建設部長 開発監理部次長	原 俊 哉 倉 内 公 嘉	開発調整課長 開発調整課長補佐 建設行政課長 河川計画課長 道路計画課長 道路建設課長 道路維持課長 港湾計画課長 次長（総務担当） 次長（河川・道路担当）	竹 内 正 信 新 妻 憲 嗣 伊 藤 博 米 津 仁 司 橋 本 幸 高 橋 丞 二 坂 場 武 彦 松 良 精 三 高 薄 一 敏 近 添 幸 司
（函館開発建設部）				

■北海道

北 海 道	環境生活部長	小 玉 俊 宏	環境生活部 文化・スポーツ局 スポーツ振興課長 建設部 建設政策局 維持管理防災課維持担当課長 建設部 建設政策局 維持管理防災課管理担当課長 建設部 土木局 道路課長 副 局 長 函館建設管理部 地域調整課長 副 局 長	長谷川 浩 幸 若 山 浩 白 石 敏 宮 下 忠 昭 城 田 敏 樹 児 玉 幸 博 平 井 清 志
（渡島総合振興局）				
（檜山振興局）				

■市町村

函館市	生涯学習部長	小 林 良 一	生涯学習部スポーツ振興課長	町 谷 仁 志
北斗市	教育次長	岡 村 弘 之	社会教育課長	八木橋 直 弘
木古内町	副町長	大 野 泰	産業経済課長	木 村 春 樹
上ノ国町	副町長	佐 藤 博	教育長	矢 代 智 樹
江差町	教育長	太 田 誠	社会教育課長	大 坂 敏 文
厚沢部町	副町長	松 橋 道 雄	総務政策課長	朝 倉 秀 美
知内町	副町長	網 野 眞	社会教育課長	松 本 泰 行
福島町	副町長	高 木 壽	教育委員会事務局長	鎌 田 一 志
松前町	副町長	若 佐 智 弘	文化社会教育課長	堀 川 昭 彦

ツール・ド・北海道2017 大会競技役員名簿

■大会実行委員長

森野 和泰

■大会実行副委員長

穴田 勝彦・小野 盛秀・高松 泰

■総務委員長・大会ディレクター

山本 隆幸

■総務副委員長

和田 俊博

■総務委員

古藤 敏之・湊 雄一・石戸谷 眞逸・大脇 恒夫
堀江 洋一郎・小林 かおり・児玉 万里・小杉 勝則
宮田 裕行・久末 淳・平出 渉・小林 岳・宮坂 純平
小田 裕之

(協会事務局)

牛島 元嗣・木田 光良

(式典・賞典担当)

一関 祐次・西畑 健一

(市民レース担当)

堀江 洋一郎・板谷 治・五十嵐 誠・安倍 明政
百瀬 堅・真田 達雄・平井 友昭・板谷 京子
太田 徹・石谷 隆治・小池 俊夫・須田 誠

(通訳)

デーヴィッド バーネット

(警備・コース担当)

石戸谷 眞逸・小野 俊博・今野 昭二・林 公悦

(会場・車両担当)

澤田 順一・湯口 雄司・山崎 達哉・近藤 幸市郎
鈴木 伸二・林 実雄

(交通対策担当)

嶋田 隆・嘉見 誠一

(オートバイエスコート)

前田 実・小林 久人・樽見 隆男・萱原 孝行
山口 哲夫・鈴木 信行・近藤 敏子・近藤 卓

■広報委員長

和田 俊博

■広報副委員長

湊 雄一

(広報担当)

鈴木 秀之・山内 康史・芦田 千里・岩舘 掌一
齊藤 新人・高木 秀彰・加藤 智

(集計・コミュニケーション担当)

大脇 恒夫・堀江 洋一郎・島村 千樹・大鳥居 雅
兼山 智樹・吉村 仁希・田中 勇次

■審判長

マフムード ジャマルディン

■競技ディレクター

小野口 裕朗・小野 盛秀

■コミセールパネル

森尻 展充・齊藤 晃一郎・勝見 洋一

■フィニッシュジャッジ

鴨川 敬

(審判員)

大脇 恒夫・佐藤 勝喜・中村 恭治・吉清水 一之
櫻澤 幸雄・森本 聡・藤原 盛一・假谷 豊
若生 宏・綿貫 光子・西川 一郎・中安 基之
小口 英之・小野口 智美・奥原 進治・蓼沼 真弓
小笠原 嘉・山上 義明・佐々木 博・力石 達也
清水 一孝・大野 直志・高橋 松吉・伊藤 靖夫・向井 資晴
夏目 幸・程原 邦夫・伊藤 将史・平林 功・川畑 太一
本村 信人・親川 泰典・室井 文男
長谷部 信一・近岡 紀子・山口 智裕・椎名 直子
石垣 秀人・中井 豊・大貫 勝豊・平出 剛一・蓮沼 英司
酒井 和彦・石橋 旭・平岡 雅史・寺井 英治・坂 知明
山田 裕昭・井上 学・穴田 裕哉・池田 恭子
池田 正二郎・池田 ゆめこ・岡部 克・岡部 美智子
鎌野 美幸・鴨川 有李・岸澤 隆・木村 俊一
工藤 貴行・近藤 良一・櫻井 雅彦・佐藤 泉
佐藤 久美子・佐藤 雅憲・重田 康成・菅 清香・高井 孝二
千葉 鶴也・津田 欣一・鶴田 数義・中野 良宣
西野 勝士・野中 勇一・長谷 孝一・前田 健人
増原 祥貴・松田 健吾・松田 茂・松田 陽一
松藤 英紀・数下 昌也・山田 順一・和田 眞宏・須藤 大助
奥村 隆一・金澤 昭二・上野 幸二

■ドーピングコントロール

(ドーピングコントロールオフィサー)

鈴木 靖・國分 裕二・小川 豊和

(シャペロン)

松谷 竜之介・山口 敦史

(事務局担当)

宮 孝司

■NF Rep (国内競技団体代表)

笠師 久美子

■医務担当医師

青木 昌弘・山田 隆宏・前田 慶太郎・大坪 優介

■医務・医療担当

松田 悦子・秋保 頼子・白岩 さやか・堀 英子・米田 恵子
鈴木 裕子・齊藤 亜弥・川村 勝幸・村田 俊一

■ニュートラルサービス担当

坂東 晃・高橋 義彦・早田 暁幸・寺田 稔
三瀧 光誠・竹村 孝行・蓼沼 和成・引間 大介
川口 朋・小島 尚裕・西村 壮平・早坂 幸久

■補給地点担当

澤田 賢吉・池田 勝日輝

■選手収容担当

高橋 幸久・間山 法大

ツール・ド・北海道2017 賛助会員名簿

●法人

一般社団法人 網走建設業協会
 一般財団法人 石狩川振興財団
 小樽建設協会
 一般社団法人 寒地港湾技術研究センター
 札幌自転車競技連盟
 一般社団法人 函館建設業協会
 一般社団法人 北海道開発技術センター
 一般財団法人 北海道開発協会
 一般財団法人 北海道河川財団
 一般財団法人 北海道コンクリート技術センター
 北海道自転車軽自動車商業協同組合
 一般社団法人 北海道商工会議所連合会
 一般社団法人 北海道測量設計業協会
 一般財団法人 北海道道路管理技術センター
 一般社団法人 北海道土地改良建設協会
 一般社団法人 北海道土地改良設計技術協会
 公益社団法人 北海道トラック協会
 稚内建設協会

 葵建設株式会社
 赤川建設興業株式会社
 阿寒共立土建株式会社
 秋津道路株式会社
 旭イノベックス株式会社
 株式会社アサヒ建設コンサルタント
 あすなろ道路株式会社
 荒井建設株式会社
 株式会社安藤・間 札幌支店
 株式会社生駒組
 勇建設株式会社
 株式会社 石山組
 株式会社伊豆倉組
 株式会社磯田組
 株式会社伊藤組
 伊藤組土建 株式会社
 株式会社伊藤工業
 岩倉建設株式会社
 岩田地崎建設株式会社
 植村建設株式会社
 株式会社エーティック
 株式会社園建
 及川産業株式会社
 大江建設株式会社
 株式会社大林組 札幌支店
 大林道路株式会社 北海道支店
 株式会社ガイアート・K 北海道支店
 株式会社開発工営社
 開発工建株式会社
 鹿島道路株式会社 北海道支店
 鎌田輪業有限会社
 機械開発北旺株式会社
 岸本産業株式会社

株式会社北一組
 北日本港湾コンサルタント株式会社
 協和八光建設株式会社
 株式会社近代設計 札幌支社
 草野作工株式会社
 栗林建設株式会社
 ケイセイマサキ建設株式会社
 光栄建設工業株式会社
 株式会社構研エンジニアリング
 株式会社小金澤組
 小針土建株式会社
 こぶし建設株式会社
 有限会社サイクル小野サッポロ
 斉藤井出建設株式会社
 坂野建設株式会社
 株式会社佐々木建設
 札幌工業株式会社
 札幌建設運送株式会社
 沢田建設株式会社
 三協建設株式会社
 三共電気工業株式会社
 株式会社サン広告社
 JXトレーディング株式会社
 清水建設株式会社 北海道支店
 白崎建設株式会社
 株式会社シン技術コンサル
 新太平洋建設株式会社
 新島工業株式会社
 新谷建設株式会社
 杉原建設株式会社
 世紀東急工業株式会社 北海道支店
 株式会社総北海
 大成ロテック株式会社 北海道支社
 大地コンサルタント株式会社
 大同舗道株式会社
 大北土建工業株式会社
 株式会社ダイヤコンサルタント北海道支社
 株式会社高組
 高玉建設工業株式会社
 タカハタ建設株式会社
 株式会社田中組
 株式会社田中工業
 株式会社谷脇組
 株式会社 田端本堂カンパニー
 株式会社玉川組
 株式会社田宮設計事務所
 地崎道路株式会社 北海道支店
 中央コンサルタンツ株式会社 札幌支店
 株式会社通電技術
 辻谷建設株式会社
 ツバメ工業株式会社
 株式会社DSP
 鉄建建設株式会社 札幌支店

電通設備株式会社
 東亜道路工業株式会社 北海道支社
 東海建設株式会社
 道興建設株式会社
 東光舗道株式会社
 株式会社東洋実業
 道路建設株式会社
 道路工業株式会社
 株式会社ドーコン
 徳井建設工業株式会社
 戸田建設株式会社 札幌支店
 戸田道路株式会社 札幌営業所
 飛鳥建設株式会社 札幌支店
 株式会社ドボク管理
 株式会社土木技術コンサルタント
 中道リース株式会社
 株式会社中山組
 西江建設株式会社
 西松建設株式会社 札幌支店
 株式会社日栄建設
 日成建設株式会社
 日測技研株式会社
 日本工営株式会社 札幌支店
 日本データーサービス株式会社
 日本道路株式会社 北海道支店
 日本ファブテック株式会社 札幌営業所
 株式会社野田組
 パシフィックコンサルタンツ株式会社
 株式会社橋本川島コーポレーション
 花本建設株式会社
 バブリックコンサルタント株式会社
 東日本道路株式会社
 日吉建設株式会社
 株式会社廣野組
 不二建設株式会社
 富士新舗道株式会社
 株式会社藤田組
 藤原工業株式会社
 株式会社不動テトラ 北海道支店
 萌州建設株式会社
 北央道路工業株式会社
 北斗徽章株式会社
 北土建設株式会社
 北都道路株式会社
 株式会社北開水工コンサルタント
 北海道空港株式会社
 株式会社北海道新聞社
 北海道道路エンジニアリング株式会社
 株式会社北海道丸和ロジスティクス
 北海道ロードメンテナンス株式会社
 株式会社堀口組
 堀松建設工業株式会社
 幌村建設株式会社

前田建設工業株式会社 北海道支店
 前田道路株式会社 北海道支店
 丸建道路株式会社 札幌支店
 丸駒シビルサービス株式会社
 丸彦渡辺建設株式会社
 三井住建道路株式会社 北海道支店
 宮坂建設工業株式会社
 宮永建設株式会社
 株式会社宮原組
 宮脇土建株式会社
 村井建設株式会社
 株式会社盛永組
 株式会社森本商会
 株式会社山内組
 株式会社山口工業所
 株式会社山田組
 株式会社山伏パコム
 渡辺建設工業株式会社

●個人

阿部 芳昭
 牛島 元嗣
 梅田 勝
 大野裕一郎
 尾埜 森己
 勝見 洋一
 小塚 耕平
 鈴木 秀之
 清崎 晶雄
 田下 啓一
 恒松 浩
 東岱 庄一
 巻 登
 遊佐 義彦
 渡辺 総悦